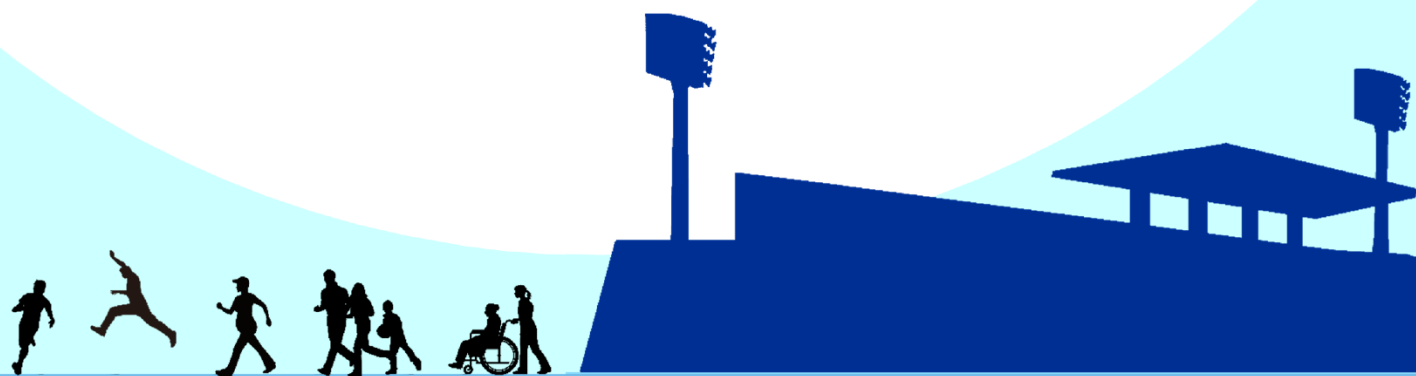


# 葛飾区 スポーツ推進計画

令和5年度(2023)～令和9年度(2027)

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」  
自分にあった形でスポーツ活動に親しみ、スポーツを通じた  
健康で元気な葛飾づくりを推進します。



令和5年3月 葛飾区教育委員会



# 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 第1章 基本的な考え方                         | 1  |
| 1 計画の概要                             | 1  |
| 2 計画の位置付け                           | 1  |
| 3 本計画の期間                            | 2  |
| 4 本計画策定の視点                          | 2  |
| 第2章 スポーツ推進の現状と課題                    | 4  |
| 1 国や都の動向                            | 4  |
| （1）第3期スポーツ基本計画（文部科学省（スポーツ庁））        | 4  |
| （2）東京都スポーツ推進総合計画                    | 5  |
| 2 葛飾区の現状と課題                         | 6  |
| （1）葛飾区の人口                           | 6  |
| （2）葛飾区のスポーツの現状                      | 8  |
| （3）葛飾区スポーツ推進計画（前計画：平成30年度～令和4年度）の進捗 | 13 |
| （4）葛飾区スポーツに関する意識調査の概要               | 15 |
| （5）団体ヒアリング結果                        | 27 |
| （6）葛飾区のスポーツ推進の課題                    | 29 |
| 第3章 本計画の方向性                         | 33 |
| 1 本計画の基本理念                          | 33 |
| 2 本計画の目標                            | 33 |
| 目標1 スポーツを「する」人の拡大                   | 33 |
| 目標2 スポーツが「できる」環境の整備                 | 33 |
| 目標3 スポーツを「ささえる」活動の基盤強化              | 33 |
| 目標4 スポーツを「みせる」環境の整備                 | 33 |
| 3 本計画の数値目標                          | 34 |
| 4 課題と4つの目標の対応について                   | 34 |
| 5 施策体系                              | 35 |
| 6 計画の取組                             | 36 |
| 第4章 本計画の実施に向けて                      | 55 |
| 1 推進体制                              | 55 |
| 2 本計画の評価                            | 57 |
| 資料編                                 | 58 |
| 1 用語解説                              | 58 |
| 2 葛飾区スポーツ推進計画策定委員会設置要綱              | 63 |
| 3 葛飾区スポーツ推進計画策定委員会委員名簿              | 65 |
| 4 葛飾区スポーツ推進計画の策定経過                  | 66 |

## はじめに

スポーツは、体力の向上や爽快感、達成感を得ることによる心のリフレッシュをはじめ、健康寿命の延伸や次世代を担う青少年の健やかな成長を促すなど生涯を通じて心身ともに健康な日々を過ごすうえで欠かせないものです。さらに、スポーツを通じた人と人との交流は、活力に満ちた地域社会を維持していくためにも重要な役割を担っています。

葛飾区教育委員会では、平成20年に策定した「葛飾区スポーツ振興計画」、平成30年に策定した「葛飾区スポーツ推進計画」のもと、継続して様々なスポーツ施策を推進してまいりましたが、令和元年度から始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は、区民のスポーツに対する意識や行動にも大きな変化をもたらしました。一方、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されたことで、スポーツへの関心は高まっており、大会のレガシーを継承しながら、子どもから高齢者まで幅広い世代の区民がスポーツ活動に親しむことのできる環境づくりをさらに進めることが求められています。

こうした状況を踏まえ、葛飾区教育委員会では、これまでの成果を生かしながら、世代や性別、障害の有無等に関わらず、全ての区民一人一人がご自身にあった方法やスタイルでスポーツに親しめる機会を拡充するとともに、スポーツ活動への支援や身近な施設や自然を活用したスポーツの環境づくり、区民や地域を元気にするスポーツ振興施策の充実を目指し、葛飾区スポーツ推進計画を改定いたしました。

本計画の推進にあたりましては、区民の皆様、スポーツ関連団体の皆様などとの協働が不可欠であり、より一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

結びに、計画の改定に当たりご協力をいただきました区民の皆様並びに関連団体の皆様に心より御礼申し上げます。

令和5年3月

葛飾区教育委員会

教育長 小花 高子



# 第1章 基本的な考え方

## 1 計画の概要

葛飾区では、平成30年度に令和4年度までの5年間を計画期間とした第2期となる「葛飾区スポーツ推進計画」を策定し、区内の生涯スポーツ活動の促進のために、各種スポーツ施策を推進してきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の世界的なパンデミックにより、今まで確立されていた人々のライフスタイルや価値観が大きく変わりました。また、令和3年に開催された東京オリンピック・パラリンピック競技大会でスポーツへの関心が高まるなど、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しました。そのため、今後区がどのようにスポーツに関わり、区民のスポーツ活動が発展していくかが重要となっています。

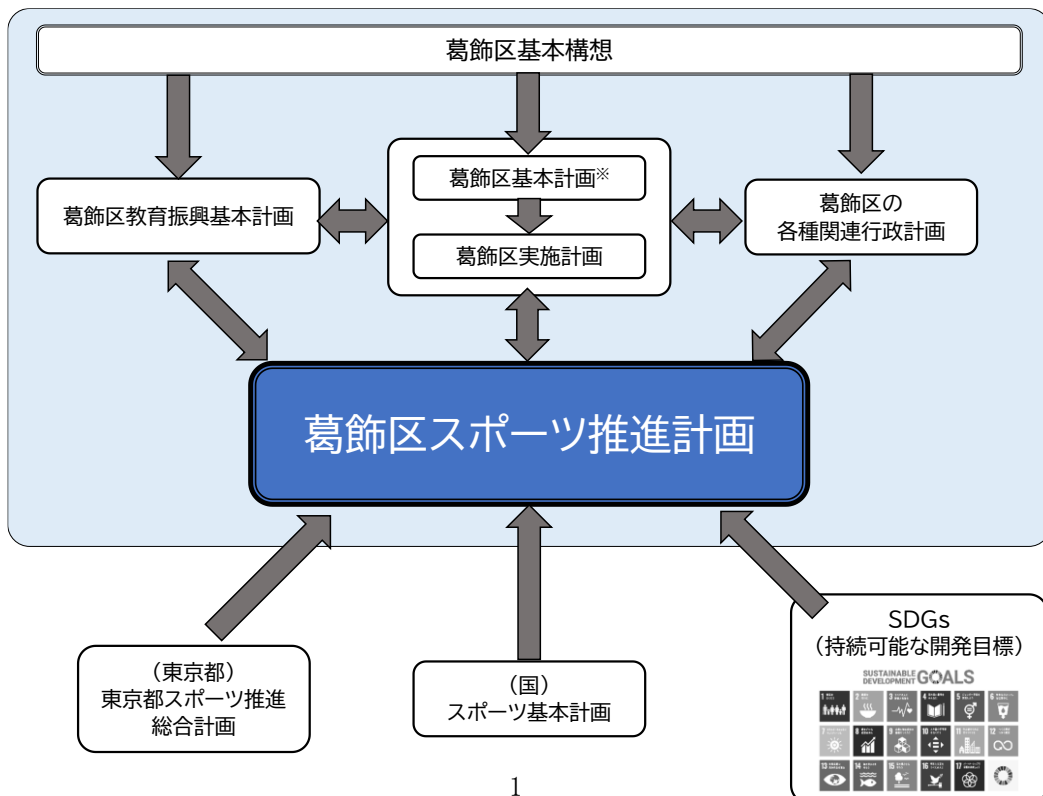
この度、前計画である「葛飾区スポーツ推進計画」が令和4年度で計画期間終了となることから、スポーツ基本法\*第10条の規定に基づき、国や都等の計画の趣旨を踏まえるとともに、葛飾区の基本計画をはじめとした関連計画との整合性を図りながら、葛飾区の現状に即した形で、これからのスポーツ施策を効果的に推進することを目的に第3期となる「葛飾区スポーツ推進計画」を策定します。

※印はP.58用語解説参照（以下同様）

## 2 計画の位置付け

本計画は、国が策定した「スポーツ基本計画」や都が策定した「東京都スポーツ推進総合計画」の趣旨・意向を踏まえるとともに、葛飾区基本計画\*をはじめとした葛飾区の関連計画等において定めたスポーツ分野の政策・施策との整合性を図りながら策定します。

また、本計画では、SDGs（持続可能な開発目標）を国際社会の重要な目標と捉え、葛飾区のスポーツ施策からその実現に向けて貢献するため、SDGsの理念も踏まえて策定します。



### 3 本計画の期間

本計画の期間は令和5年度から令和9年度までの5年間とします。

|             |                | H30<br>(2018) | R元<br>(2019) | R2<br>(2020) | R3<br>(2021)        | R4<br>(2022) | R5<br>(2023) | R6<br>(2024)     | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) | R9<br>(2027)         | R10<br>(2028) | R11<br>(2029) | R12<br>(2030) |  |
|-------------|----------------|---------------|--------------|--------------|---------------------|--------------|--------------|------------------|--------------|--------------|----------------------|---------------|---------------|---------------|--|
| 国           | 第3期スポーツ基本計画(国) |               |              |              |                     | 令和4年度～令和8年度  |              |                  |              |              |                      |               |               |               |  |
| 都           | 東京都スポーツ推進総合計画  | 平成30年度～令和6年度  |              |              |                     |              |              |                  |              |              |                      |               |               |               |  |
| 区           | 葛飾区基本構想        |               |              |              | 令和3年～               |              |              |                  |              |              |                      |               |               |               |  |
|             | 葛飾区基本計画※       |               |              |              | 令和3年度～令和12年度        |              |              |                  |              |              |                      |               |               |               |  |
|             | 葛飾区実施計画        |               |              |              | 令和3年度～令和6年度(前期実施計画) |              |              |                  |              |              | 令和6年度～令和9年度(中期実施計画)  |               |               |               |  |
|             |                |               |              |              |                     |              |              |                  |              |              | 令和9年度～令和12年度(後期実施計画) |               |               |               |  |
|             |                |               |              |              |                     |              |              |                  |              |              |                      |               |               |               |  |
|             | 葛飾区教育振興基本計画    |               |              |              |                     | 見直し          | 令和元年度～令和5年度  |                  | 令和6年度～令和10年度 |              |                      |               |               |               |  |
| 葛飾区スポーツ推進計画 |                |               |              |              | 見直し                 | 平成30年度～令和4年度 |              | 本計画(令和5年度～令和9年度) |              |              |                      |               |               |               |  |

### 4 本計画策定の視点

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」自分の暮らしにあったスポーツ活動ができる社会を実現するため、今後5年間で推進していくスポーツ施策を通じた重要な視点を次のとおりに掲げます。

#### スポーツは「文化活動」

スポーツ基本法※では、「スポーツは心身の両面に影響を与える文化として、健康の保持増進、体力の向上に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や、とりわけ青少年にとっては、スポーツが人格形成に多大な影響を与えるなど、心身の両面にわたる健全な発達に不可欠なもの」と示されています。

本計画では、人々が体を動かすことで、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びを与えるなど、スポーツを創造的な文化活動の要素を持つものとして捉えます。

#### 本計画におけるスポーツとは

本計画では、スポーツを誰もが気軽に楽しく、日常的に行うものとして捉えます。

スポーツ基本法※の前文では、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために、個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と示されています。ルールに基づいた勝敗を競うスポーツだけではなく、学校における体育活動や介護予防※のトレーニング、レクリエーションとしてのハイキング等や、健康づくりのためのウォーキング、ラジオ体操等の軽い運動など日常的に体を動かす運動も含め、目的のある身体活動のすべてをスポーツとして扱います。

## 「する」、「みる」、「ささえる」スポーツ

本計画におけるスポーツは、実際に「する」人だけではなく、競技大会やプロスポーツを「みる」人、そして指導者やボランティア等のスポーツを「ささえる」人の視点で捉えます。

区民がそれぞれの体力や年齢、性別、障害の有無などに応じて「気軽に」、「定期的に」、「継続的に」自分にあった形でスポーツを「する」、「できる」よう取り組みます。

スポーツを「みる」、「応援する」等により、自らスポーツをしたり、家族や友人に話したりとスポーツの理解や楽しさを深められる取組を進めます。

区民の「する」、「みる」スポーツの様々なニーズに応じて、スポーツ関連団体等との連携・協働を図りスポーツ全体を「ささえる」取組を進めます。

## スポーツを通じた地域づくり・まちづくり

スポーツ振興を推進するためには、誰もが気軽にいつでもスポーツができる場や競技大会などを観る場など、スポーツを行う設備や環境の整備が必要となります。また、スポーツを支えることにおいても、スポーツ関連団体等の連携体制や指導員・ボランティアの育成などスポーツを取り組むための仕組みづくりも必要であり、スポーツ分野以外の団体とも連携・協働した取組が必要です。スポーツ推進を通して地域一体となった取組やまちづくりを進めます。

## SDGsを踏まえた計画推進

SDGsで謳われている目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与することを目指し、本計画を推進します。



あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる。

## 第2章 スポーツ推進の現状と課題

### 1 国や都の動向

#### (1) 第3期スポーツ基本計画（文部科学省（スポーツ庁））

スポーツ基本計画は、スポーツ基本法<sup>※</sup>第9条の規定により、文部科学大臣が定めるスポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、国、地方自治体及びスポーツ団体等が一体となって、スポーツ立国の実現を目指す上でも重要な指針として策定されています。

平成24年度に第1期スポーツ基本計画が策定され、現行の第3期スポーツ基本計画は令和4年度から令和8年度までの5年間の計画期間として策定されました。

#### 第3期スポーツ基本計画のスポーツ施策の基本方針

| 計画期間   | 令和4年度～令和8年度  |
|--|--|
| 東京オリンピック・パラリンピック大会のスポーツ・レガシー <sup>※</sup> の継承・発展に資する重点施策 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 持続可能な国際競技力の向上</li> <li>◆ 共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進</li> <li>◆ スポーツを通じた国際交流・協力</li> <li>◆ 大規模大会の運営ノウハウの継承</li> <li>◆ 地方創生・まちづくり</li> <li>◆ スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保</li> </ul>   |
| スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ スポーツを「つくる／はぐくむ」<br/>社会の変化や状況に応じて既存の仕組みにとらわれずに柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて創り出す。</li> <li>◆ スポーツで「あつまり、ともに、つながる」<br/>様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。</li> <li>◆ スポーツに「誰もがアクセスできる」<br/>性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じないような社会を実現し、機運の醸成を図る。</li> </ul>  |
| 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む12の施策                                 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 多様な主体におけるスポーツの機会創出</li> <li>2 スポーツ界におけるDXの推進</li> <li>3 国際競技力の向上</li> <li>4 スポーツの国際交流・協力</li> <li>5 スポーツによる健康増進</li> <li>6 スポーツの成長産業化</li> <li>7 スポーツによる地方創生・まちづくり</li> <li>8 スポーツを通じた共生社会の実現</li> <li>9 スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化</li> <li>10 スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材</li> <li>11 スポーツを実施する者の安全・安心の確保</li> <li>12 スポーツ・インテグリティ<sup>※</sup>の確保</li> </ol> |



(2) 東京都スポーツ推進総合計画

| 計画期間                              | 平成 30 年度～令和 6 年度  |                                  |                            |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|----------------------------|----|--------------------|------------------|-------------------|------------------------------|-------|------|---------|------------------------------|----------------------|---|-----------------|--------------------------------|-------|-----|--------|----|--------------------|------------------|-------------------|------------------------|------------------------|---|----------------------------|-------------------|-------|-----|-----|------------------|-------|-----|--------|----|--------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|-------|-----|--------|-----------------------------------|---|----------------------------------|-----------|----------------------|-----------------------------|--------|--------|
| 基本理念                              | <p>「スポーツの力で東京の未来を創る」</p> <p>都民のスポーツ実施率 70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現します。</p>   |                                  |                            |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 3つの政策目標                           | <p>政策目標 1 スポーツを通じた健康長寿の達成</p> <p>政策目標 2 スポーツを通じた共生社会の実現</p> <p>政策目標 3 スポーツを通じた地域・経済の活性化</p>   |                                  |                            |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 30の政策指針                           | 政策目標の下に課題解決に向けた施策展開の方向性を、「する・みる・ささえる」の3つの視点から具体的な取組として30の政策指針を設定。   |                                  |                            |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 計画全体の目標値と9つの達成目標                  | <p>計画全体の目標と3つの政策目標それぞれに達成指標を都のスポーツ振興施策の実施により発生する効果を表すアウトカム指標で設定。</p> <p>政策目標 1 スポーツを通じた健康長寿の達成</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度<br/>(2016)</th> <th>令和 2 年<br/>(2020)</th> <th>令和 6 年度<br/>(2024)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年間にスポーツを実施しなかった都民(18歳以上)の割合</td> <td>15.0%</td> <td>7.5%</td> <td>7.5%を維持</td> </tr> <tr> <td>スポーツが「嫌い」「やや嫌い」と回答する中学2年生の割合</td> <td>男子 11.8%<br/>女子 21.8%</td> <td>—</td> <td>男子 5%<br/>女子 10%</td> </tr> <tr> <td>1年間にスポーツを支える活動を行った都民(18歳以上)の割合</td> <td>13.1%</td> <td>20%</td> <td>20%を維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>政策目標 2 スポーツを通じた共生社会の実現</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度<br/>(2016)</th> <th>令和 2 年<br/>(2020)</th> <th>令和 6 年度<br/>(2024)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>障害のある都民(18歳以上)のスポーツ実施率</td> <td>19.2%<br/>20歳以上<br/>全国数値</td> <td>—</td> <td>40%<br/>令和3年(2021)<br/>までの達成</td> </tr> <tr> <td>20～30歳代女性(都民)の実施率</td> <td>42.0%</td> <td>50%</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>60歳以上の都民のスポーツ実施率</td> <td>65.5%</td> <td>75%</td> <td>75%を維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>政策目標 3 スポーツを通じた地域・経済の活性化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 28 年度<br/>(2016)</th> <th>令和 2 年<br/>(2020)</th> <th>令和 6 年度<br/>(2024)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年間にスポーツを直接観戦した都民(18歳以上)の割合</td> <td>39.3%</td> <td>50%</td> <td>50%を維持</td> </tr> <tr> <td>東京 2020 大会に出場する都が発掘・育成・強化したアスリート数</td> <td>—</td> <td>オリンピック<br/>100人<br/>パラリンピック<br/>25人</td> <td>成果等を踏まえ検討</td> </tr> <tr> <td>都内のスポーツ市場規模(スポーツGDP)</td> <td>0.57兆円<br/>平成24年<br/>(2012)数値</td> <td>1.04兆円</td> <td>1.46兆円</td> </tr> </tbody> </table> |                                  |                            | 項目 | 平成 28 年度<br>(2016) | 令和 2 年<br>(2020) | 令和 6 年度<br>(2024) | 1年間にスポーツを実施しなかった都民(18歳以上)の割合 | 15.0% | 7.5% | 7.5%を維持 | スポーツが「嫌い」「やや嫌い」と回答する中学2年生の割合 | 男子 11.8%<br>女子 21.8% | — | 男子 5%<br>女子 10% | 1年間にスポーツを支える活動を行った都民(18歳以上)の割合 | 13.1% | 20% | 20%を維持 | 項目 | 平成 28 年度<br>(2016) | 令和 2 年<br>(2020) | 令和 6 年度<br>(2024) | 障害のある都民(18歳以上)のスポーツ実施率 | 19.2%<br>20歳以上<br>全国数値 | — | 40%<br>令和3年(2021)<br>までの達成 | 20～30歳代女性(都民)の実施率 | 42.0% | 50% | 55% | 60歳以上の都民のスポーツ実施率 | 65.5% | 75% | 75%を維持 | 項目 | 平成 28 年度<br>(2016) | 令和 2 年<br>(2020) | 令和 6 年度<br>(2024) | 1年間にスポーツを直接観戦した都民(18歳以上)の割合 | 39.3% | 50% | 50%を維持 | 東京 2020 大会に出場する都が発掘・育成・強化したアスリート数 | — | オリンピック<br>100人<br>パラリンピック<br>25人 | 成果等を踏まえ検討 | 都内のスポーツ市場規模(スポーツGDP) | 0.57兆円<br>平成24年<br>(2012)数値 | 1.04兆円 | 1.46兆円 |
| 項目                                | 平成 28 年度<br>(2016)  | 令和 2 年<br>(2020)                 | 令和 6 年度<br>(2024)          |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 1年間にスポーツを実施しなかった都民(18歳以上)の割合      | 15.0%   | 7.5%                             | 7.5%を維持                    |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| スポーツが「嫌い」「やや嫌い」と回答する中学2年生の割合      | 男子 11.8%<br>女子 21.8%  | —                                | 男子 5%<br>女子 10%            |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 1年間にスポーツを支える活動を行った都民(18歳以上)の割合    | 13.1%   | 20%                              | 20%を維持                     |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 項目                                | 平成 28 年度<br>(2016)  | 令和 2 年<br>(2020)                 | 令和 6 年度<br>(2024)          |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 障害のある都民(18歳以上)のスポーツ実施率            | 19.2%<br>20歳以上<br>全国数値  | —                                | 40%<br>令和3年(2021)<br>までの達成 |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 20～30歳代女性(都民)の実施率                 | 42.0%   | 50%                              | 55%                        |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 60歳以上の都民のスポーツ実施率                  | 65.5%   | 75%                              | 75%を維持                     |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 項目                                | 平成 28 年度<br>(2016)  | 令和 2 年<br>(2020)                 | 令和 6 年度<br>(2024)          |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 1年間にスポーツを直接観戦した都民(18歳以上)の割合       | 39.3%   | 50%                              | 50%を維持                     |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 東京 2020 大会に出場する都が発掘・育成・強化したアスリート数 | —   | オリンピック<br>100人<br>パラリンピック<br>25人 | 成果等を踏まえ検討                  |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |
| 都内のスポーツ市場規模(スポーツGDP)              | 0.57兆円<br>平成24年<br>(2012)数値   | 1.04兆円                           | 1.46兆円                     |    |                    |                  |                   |                              |       |      |         |                              |                      |   |                 |                                |       |     |        |    |                    |                  |                   |                        |                        |   |                            |                   |       |     |     |                  |       |     |        |    |                    |                  |                   |                             |       |     |        |                                   |   |                                  |           |                      |                             |        |        |

## 2 葛飾区の現状と課題

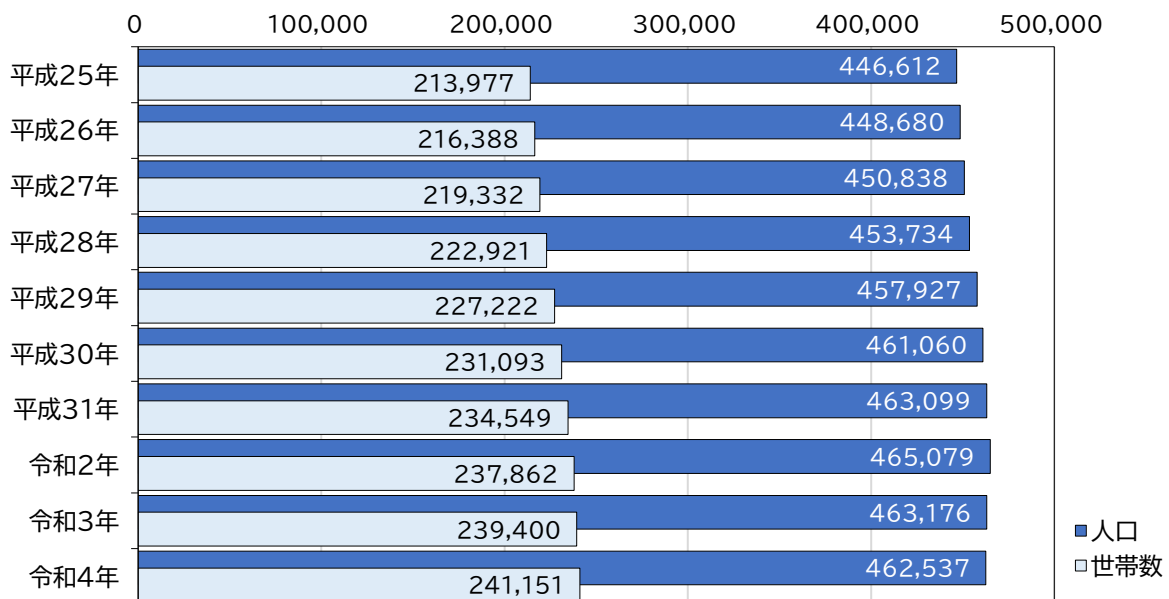
### (1) 葛飾区の人口

葛飾区の10年間の人口の推移をみると、平成25年から令和2年までは緩やかに増加していますが、以降はほぼ横ばいとなっており、令和4年4月1日時点の人口は462,537人となっています。

世帯数は、平成25年以降増加しており、令和4年4月1日時点の世帯数は241,151世帯となっています。

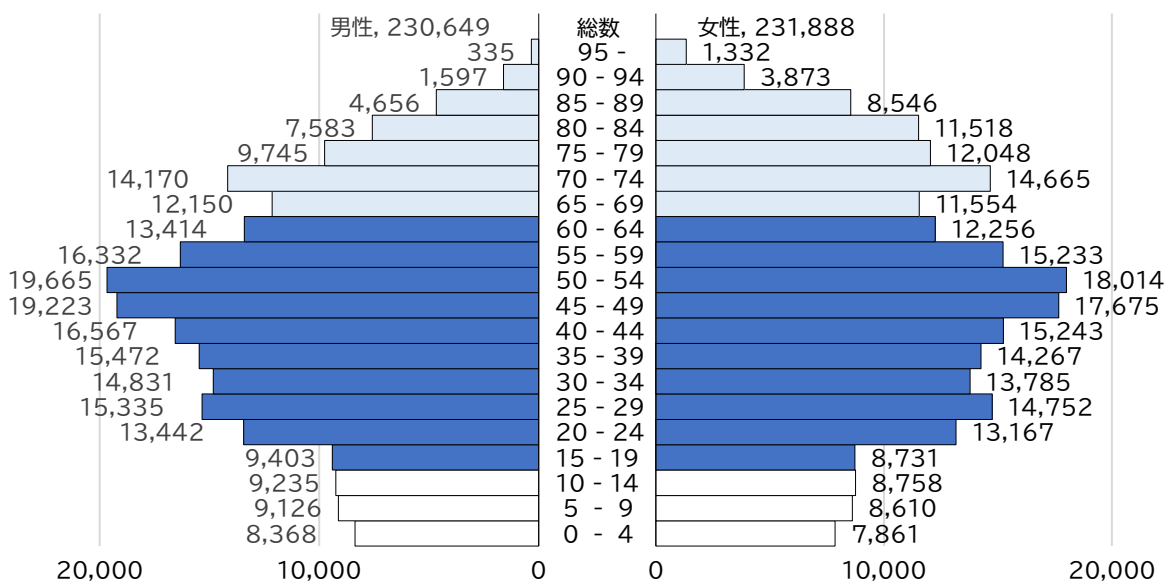
年齢別人口でみると、45歳から54歳の間が多くなっています。  
地域別にみると、亀有・青戸地域で人口が最も多くなっています。

#### ① 人口及び世帯数の推移



各年4月1日時点（葛飾区ホームページ「葛飾区の世帯と人口」）

#### ② 年齢別人口構成



令和4年4月1日時点（葛飾区ホームページ「葛飾区の世帯と人口」）

③ 地域別年代別人口・地域別世帯数

|       | 南綾瀬・お花茶屋・堀切 |
|-------|-------------|
| 総数    | 62,976      |
| 10歳未満 | 4,373       |
| 10代   | 4,549       |
| 20代   | 8,419       |
| 30代   | 8,296       |
| 40代   | 9,056       |
| 50代   | 8,989       |
| 60代   | 6,844       |
| 70代   | 6,878       |
| 80歳以上 | 5,572       |
| 世帯数   | 34,229      |

|       | 亀有・青戸  |
|-------|--------|
| 総数    | 81,978 |
| 10歳未満 | 6,513  |
| 10代   | 6,462  |
| 20代   | 9,895  |
| 30代   | 10,837 |
| 40代   | 12,569 |
| 50代   | 12,027 |
| 60代   | 8,807  |
| 70代   | 8,579  |
| 80歳以上 | 6,289  |
| 世帯数   | 43,016 |

|       | 水元     |
|-------|--------|
| 総数    | 48,991 |
| 10歳未満 | 3,702  |
| 10代   | 4,922  |
| 20代   | 5,017  |
| 30代   | 4,841  |
| 40代   | 7,014  |
| 50代   | 8,081  |
| 60代   | 5,194  |
| 70代   | 5,707  |
| 80歳以上 | 4,513  |
| 世帯数   | 22,648 |

|       | 金町・新宿  |
|-------|--------|
| 総数    | 58,873 |
| 10歳未満 | 5,095  |
| 10代   | 4,464  |
| 20代   | 6,509  |
| 30代   | 7,744  |
| 40代   | 9,129  |
| 50代   | 8,305  |
| 60代   | 6,249  |
| 70代   | 6,336  |
| 80歳以上 | 5,042  |
| 世帯数   | 30,342 |

|       | 柴又・高砂  |
|-------|--------|
| 総数    | 68,498 |
| 10歳未満 | 4,985  |
| 10代   | 4,962  |
| 20代   | 8,402  |
| 30代   | 8,837  |
| 40代   | 9,814  |
| 50代   | 10,115 |
| 60代   | 7,438  |
| 70代   | 7,754  |
| 80歳以上 | 6,191  |
| 世帯数   | 35,468 |

|       | 立石・四つ木 |
|-------|--------|
| 総数    | 61,947 |
| 10歳未満 | 3,990  |
| 10代   | 4,726  |
| 20代   | 7,937  |
| 30代   | 7,166  |
| 40代   | 9,126  |
| 50代   | 9,581  |
| 60代   | 6,953  |
| 70代   | 7,070  |
| 80歳以上 | 5,398  |
| 世帯数   | 32,994 |

|       | 奥戸・新小岩 |
|-------|--------|
| 総数    | 79,274 |
| 10歳未満 | 5,307  |
| 10代   | 6,042  |
| 20代   | 10,517 |
| 30代   | 10,634 |
| 40代   | 12,000 |
| 50代   | 12,146 |
| 60代   | 7,889  |
| 70代   | 8,304  |
| 80歳以上 | 6,435  |
| 世帯数   | 42,454 |

立石・四つ木 … 立石・東立石・四つ木・東四つ木  
 亀有・青戸 … 亀有・西亀有・白鳥・青戸  
 柴又・高砂 … 柴又・高砂・鎌倉・細田  
 水元 … 水元・西水元・東水元・南水元

南綾瀬・お花茶屋・堀切 … 小菅・お花茶屋・宝町・堀切・東堀切  
 奥戸・新小岩 … 奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩  
 金町・新宿 … 金町・東金町・新宿

## (2) 葛飾区のスポーツの現状

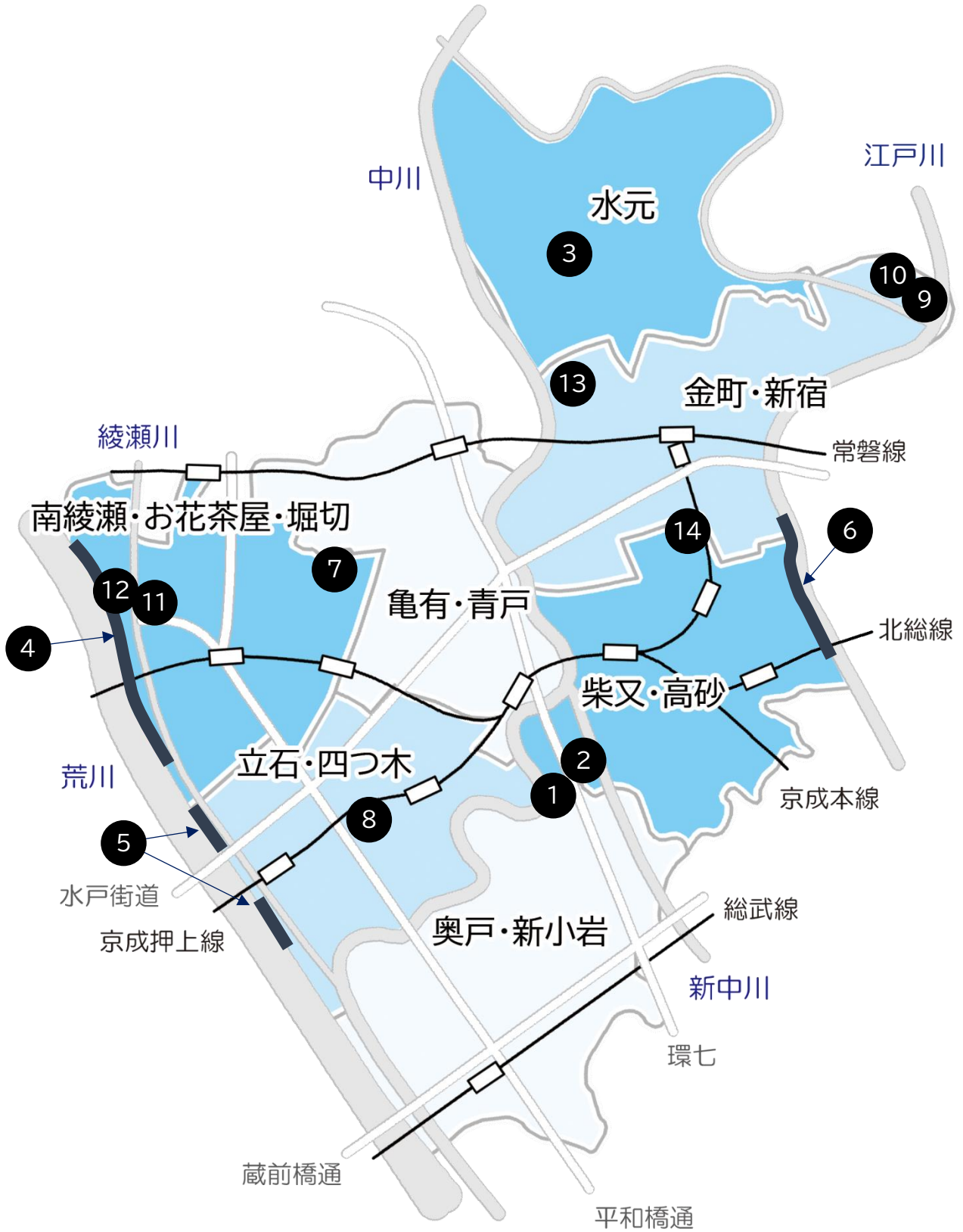
### ① 区内のスポーツ施設

葛飾区には奥戸総合スポーツセンターや水元総合スポーツセンターの総合的なスポーツ施設をはじめとした区立スポーツ施設があり、この他にも、学校施設や地域コミュニティ施設、公園、民間スポーツ施設など、身近な場所で多様なスポーツができる環境があります。

#### 区立スポーツ施設一覧

|   | 施設名  | 施設内容   | 所在地                                | 備考                 |
|---|--|--|------------------------------------|--------------------|
| ① | 奥戸総合スポーツセンター<br>体育館<br>陸上競技場                               | 大体育室／小体育室／武道場<br>弓道場／アーチェリー場<br>エアライフル場／会議室3室<br>トレーニングルーム／陸上競技場                         | 葛飾区奥戸7-17-1                        |                    |
| ② | 奥戸総合スポーツセンター<br>温水プール館<br>エイトホール<br>野球場<br>テニスコート<br>少年野球場 | 温水プール／屋外流水プール<br>エイトホール／会議室2室<br>野球場／テニスコート3面<br>少年野球場                                   | 葛飾区高砂1-2-1<br>少年野球場は<br>葛飾区高砂1-1-1 | 屋外流水プールは<br>夏季のみ営業 |
| ③ | 水元総合スポーツセンター<br>体育館<br>テニスコート<br>多目的広場                     | メインアリーナ／サブアリーナ<br>武道場／フィットネススタジオ<br>温水プール／トレーニングルーム<br>会議室2室／地域交流ホール3室<br>テニスコート2面／多目的広場 | 葛飾区水元1-23-1                        |                    |
| ④ | 荒川河川敷<br>(小菅・堀切橋付近)  | 野球場2面(荒川小菅野球場2面)<br>球技場2面／フットサル場2面<br>少年野球場5面<br>少年硬式野球場1面<br>少年ソフトボール場1面                | 葛飾区小菅・堀切先                          |                    |
| ⑤ | 荒川河川敷<br>(四つ木橋・木根川橋付近)                                     | 野球場7面／球技場2面<br>少年野球場2面   | 葛飾区四つ木・東四つ木先                       |                    |
| ⑥ | 江戸川河川敷(柴又付近)   | 野球場9面／球技場1面<br>ソフトボール場1面／少年野球場3面<br>少年ソフトボール場1面  | 葛飾区柴又・金町浄水場先                       |                    |
| ⑦ | 上千葉公園運動場   | (兼用)<br>テニスコート3面<br>少年ソフトボール場2面<br>少年球技場1面   | 葛飾区東堀切3-25-1                       |                    |
| ⑧ | 渋江公園   | テニスコート6面   | 葛飾区東立石3-3-1                        |                    |
| ⑨ | 東金町運動場   | テニスコート6面／少年野球場1面<br>多目的広場1面  | 葛飾区東金町8-27-1                       |                    |
| ⑩ | 東金町運動場スポーツライ<br>ミングセンター                                    | スポーツライミングウォール3面<br>(リード、スピード、ボルダリング)   | 葛飾区東金町8-31-1                       |                    |
| ⑪ | 小菅東スポーツ公園  | テニスコート5面<br>壁打ちテニスコート2面<br>バスケットボール3×3コート1面<br>多目的運動広場                                   | 葛飾区小菅3-1-1                         |                    |
| ⑫ | 小菅西公園  | フットサルコート2面   | 葛飾区小菅1-2-1                         |                    |
| ⑬ | 葛飾にいじゅくみらい公園運<br>動場  | テニスコート3面／多目的広場1面   | 葛飾区新宿6-3-20                        | ハードコート1面           |
| ⑭ | 金町公園プール  | 屋外プール(一般・幼児)   | 葛飾区柴又3-24-1                        | 夏季のみ営業             |

区立スポーツ施設MAP



## ② 区内のスポーツ協働団体

### ● 一般社団法人葛飾区体育協会

葛飾区のスポーツ及びレクリエーションを振興し、競技力の向上はもとより、区民の体力向上と心身の健全な発達、青少年の健全育成、生涯スポーツの普及、スポーツ精神の醸成に寄与することを目的とした団体で、41 競技（令和5年3月現在）のスポーツ団体が加盟しています。

| 一般社団法人葛飾区体育協会 加盟団体 |              |               |
|--------------------|--------------|---------------|
| 陸上競技協会             | 軟式野球連盟       | ソフトテニス連盟      |
| 卓球連盟               | バレーボール連盟     | バドミントン協会      |
| 剣道連盟               | 柔道連盟         | 弓道連盟          |
| 水泳連盟               | クレイ射撃連盟      | スキー連盟         |
| サッカー協会             | ライフル射撃連盟     | バスケットボール連盟    |
| スポーツ少年団本部          | 空手道連盟        | フォークダンス連盟     |
| ラジオ体操連盟            | 合気道連盟        | アーチェリー協会      |
| ソフトボール連盟           | テニス協会        | 少年軟式野球連盟      |
| なぎなた連盟             | 少林寺拳法連盟      | 小学校体育連盟       |
| 中学校体育連盟            | ダンススポーツ連盟    | インディアカ連盟      |
| ゴルフ協会              | ボウリング連盟      | グラウンド・ゴルフ協会   |
| カヌー協会              | バウンドテニス協会    | 太極拳連盟         |
| ダーツ協会              | ラグビーフットボール協会 | スポーツウェルネス吹矢協会 |
| 体操連盟               | ボッチャ協会       | 令和5月3月現在      |

### ● 葛飾区スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法<sup>※</sup>で“教育委員会が委嘱するもの”とされており、葛飾区のスポーツ推進のために、スポーツの実技指導や地域スポーツ活動の指導・助言及び企画立案、地域住民と行政との連絡調整（コーディネーター役）を職務とします。委員の定数は55名であり、体育団体や葛飾区青少年育成地区委員会等から選出され、教育委員会より委嘱された非常勤職員です。

葛飾区を7ブロックに分けて活動するとともに、地域スポーツの推進を円滑に行うために53名（令和5年3月現在）が協議会として組織的に活動を行っています。

### ● かつしか地域スポーツクラブ

これまで行政主体であったスポーツ事業を地域住民がそれぞれのライフステージに応じて、障害の有無、種目や世代、目的の違いに関わらず地域住民が主体となって参画できるような新しい仕組みが、かつしか地域スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）です。

| かつしか地域スポーツクラブ      |         |                 |
|--------------------|---------|-----------------|
| スポーツクラブ名           | 設立      | 拠点施設            |
| NPO法人こやのエンジョイくらぶ   | 平成20年9月 | 旧小谷野小学校         |
| 一般社団法人オール水元スポーツクラブ | 平成22年3月 | 水元総合スポーツセンター体育館 |

### ● 葛飾区青少年育成地区委員会

地域の青少年の健やかな育成を目的に活動している団体で、区内に19の地区委員会があります。

子ども、親子を対象にした地区ロードレース大会やかつしかスポーツフェスティバルなどのスポーツ行事、教育や子育てにかかわる講演会や研修会など、地域の特性を活かした様々な取組を行っています。

### ● 葛飾区子ども会育成会連合会

区内の子ども会育成会の連合組織で、子どもたちの健全な育成や地域の活性化などを目的とし、昭和36年に発足しました。「葛飾区子どもまつり※」、をはじめ、ジュニア・リーダーの育成を通じた「わんぱく相撲葛飾区大会」、「かつしかスポーツフェスティバル」などの事業を葛飾区と共催で行っています。

### ● 葛飾区健康づくり推進員

葛飾区健康づくり推進員は、自らの健康づくりとともに、地域での健康づくり活動を積極的に行うため、区長から委嘱されています。ストレッチ体操やリズム体操の指導やかつしかはつらつ体操※の普及などを行っています。

### ● 葛飾区スポーツボランティア

自立団体ではありませんが、区内でのスポーツ事業等の運営を支えるボランティアがいます。スポーツ協働団体への協力や障害者スポーツ支援、かつしかスポーツフェスティバルなどのスポーツイベントスタッフなどに携わっています。

#### スポーツボランティアの登録者の推移

| スポーツボランティア登録者数 |                  |                  |                  |                  |                  |                 |                 |                 |                  |
|----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 年度             | 平成26年度<br>(2014) | 平成27年度<br>(2015) | 平成28年度<br>(2016) | 平成29年度<br>(2017) | 平成30年度<br>(2018) | 令和元年度<br>(2019) | 令和2年度<br>(2020) | 令和3年度<br>(2021) | 令和4年度<br>(2022)※ |
| 登録者数(人)        | —                | 47               | 115              | 191              | 223              | 180             | 203             | 245             | 291              |

※令和5年3月現在

### ③ 子どもの運動と体力の状況

東京都教育委員会は、都内公立学校の全児童・生徒を対象とした「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査\*」を実施しています。

葛飾区の結果をみると、男女ともに、運動実施状況において「毎日」運動する児童・生徒が小学3年、5年、6年の男子と小学5年女子、中学生では全学年の男女が平成29年度よりも減少しています。また、運動をもっとしたいかとの質問では、「思う」が小学1年、2年と中学3年の男女、小学3年の女子と小学4年の男子は平成29年度よりも増えたものの、それ以外は「思う」が減少し、その分「やや思う」「あまり思わない」「思わない」が増えています。

上段:令和4年度 下段:平成29年度(%)

| 葛飾区 |    | 運動実施状況 |      |      |      |      |      |      |      |
|-----|----|--------|------|------|------|------|------|------|------|
|     |    | 男子     |      |      |      | 女子   |      |      |      |
|     |    | 毎日     | ときどき | ときたま | しない  | 毎日   | ときどき | ときたま | しない  |
| 小学校 | 1年 | 33.7   | 52.2 | 8.3  | 5.8  | 27.9 | 56.2 | 10.3 | 5.6  |
|     |    | 27.9   | 54.9 | 9.6  | 7.7  | 19.8 | 56.4 | 12.6 | 11.2 |
|     | 2年 | 41.6   | 46.0 | 8.1  | 4.4  | 29.5 | 56.0 | 9.8  | 4.7  |
|     |    | 34.3   | 52.4 | 8.3  | 5.0  | 23.6 | 57.2 | 10.1 | 9.0  |
|     | 3年 | 42.1   | 41.6 | 10.4 | 6.0  | 33.3 | 49.4 | 12.3 | 5.1  |
|     |    | 44.6   | 42.5 | 7.7  | 5.1  | 29.5 | 51.6 | 10.9 | 8.1  |
|     | 4年 | 52.1   | 35.4 | 8.4  | 4.1  | 38.7 | 45.7 | 11.3 | 4.2  |
|     |    | 49.5   | 37.4 | 9.2  | 4.0  | 34.1 | 48.2 | 10.8 | 6.9  |
|     | 5年 | 52.7   | 32.6 | 9.1  | 5.6  | 37.7 | 44.8 | 12.0 | 5.5  |
|     |    | 55.5   | 32.6 | 8.0  | 3.9  | 37.9 | 46.4 | 10.8 | 4.9  |
|     | 6年 | 46.6   | 35.9 | 11.4 | 6.1  | 30.2 | 44.0 | 16.6 | 9.2  |
|     |    | 49.9   | 36.2 | 8.6  | 5.2  | 29.8 | 47.1 | 16.2 | 6.9  |
| 中学校 | 1年 | 65.8   | 19.1 | 9.0  | 6.1  | 50.2 | 29.0 | 12.9 | 8.0  |
|     |    | 73.9   | 13.0 | 7.2  | 6.0  | 56.2 | 20.1 | 13.4 | 10.3 |
|     | 2年 | 66.0   | 18.3 | 7.8  | 7.8  | 49.8 | 23.0 | 13.0 | 14.3 |
|     |    | 73.9   | 12.0 | 6.1  | 7.9  | 53.8 | 15.9 | 12.7 | 17.6 |
|     | 3年 | 58.0   | 20.8 | 10.4 | 10.8 | 41.5 | 25.0 | 16.4 | 17.2 |
|     |    | 63.0   | 15.3 | 10.3 | 11.4 | 47.2 | 13.7 | 14.1 | 25.0 |

上段:令和4年度 下段:平成29年度(%)

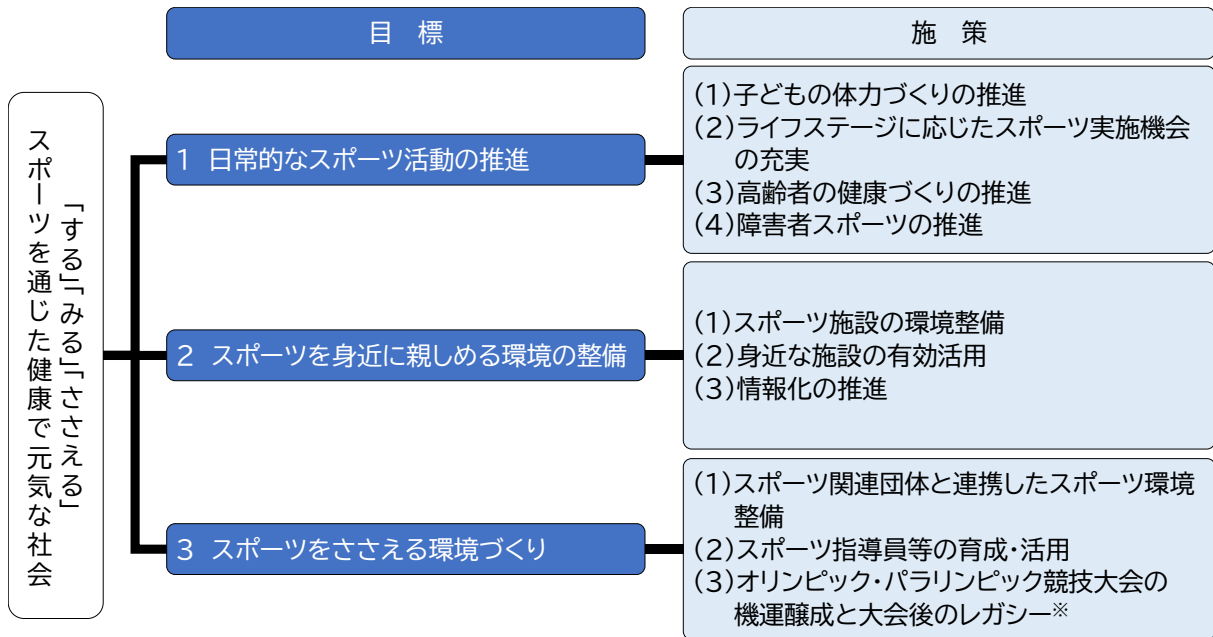
| 葛飾区 |    | 運動をもっとしたい |      |         |      |      |      |         |      |
|-----|----|-----------|------|---------|------|------|------|---------|------|
|     |    | 男子        |      |         |      | 女子   |      |         |      |
|     |    | 思う        | やや思う | あまり思わない | 思わない | 思う   | やや思う | あまり思わない | 思わない |
| 小学校 | 1年 | 70.7      | 18.2 | 8.1     | 3.0  | 69.2 | 20.8 | 6.9     | 3.2  |
|     |    | 61.3      | 29.5 | 8.0     | 1.2  | 58.8 | 32.3 | 7.9     | 0.9  |
|     | 2年 | 70.3      | 17.9 | 8.3     | 3.5  | 64.5 | 23.0 | 9.4     | 3.1  |
|     |    | 60.2      | 28.9 | 8.9     | 1.9  | 58.1 | 30.3 | 9.9     | 1.5  |
|     | 3年 | 60.7      | 23.5 | 10.9    | 5.0  | 58.4 | 26.6 | 11.1    | 3.9  |
|     |    | 63.9      | 24.0 | 9.4     | 2.7  | 58.0 | 27.9 | 10.7    | 3.4  |
|     | 4年 | 62.8      | 22.5 | 10.8    | 3.9  | 55.6 | 28.4 | 12.3    | 3.7  |
|     |    | 62.7      | 24.0 | 9.9     | 3.5  | 55.6 | 28.8 | 12.3    | 3.3  |
|     | 5年 | 59.2      | 23.2 | 11.6    | 5.9  | 51.5 | 27.7 | 15.9    | 5.0  |
|     |    | 62.8      | 22.7 | 11.1    | 3.4  | 54.7 | 26.8 | 14.1    | 4.4  |
|     | 6年 | 53.6      | 25.1 | 14.1    | 7.2  | 42.2 | 29.7 | 18.6    | 9.4  |
|     |    | 57.4      | 23.3 | 13.6    | 5.7  | 48.7 | 28.6 | 16.5    | 6.2  |
| 中学校 | 1年 | 52.8      | 26.3 | 13.5    | 7.5  | 41.6 | 33.1 | 17.5    | 7.8  |
|     |    | 58.5      | 26.4 | 10.1    | 5.0  | 46.5 | 32.4 | 15.8    | 5.3  |
|     | 2年 | 52.9      | 26.5 | 13.0    | 7.5  | 35.2 | 33.6 | 19.0    | 12.2 |
|     |    | 53.5      | 29.1 | 12.5    | 4.9  | 39.7 | 30.7 | 19.9    | 9.7  |
|     | 3年 | 50.0      | 28.7 | 13.3    | 8.0  | 38.7 | 31.2 | 20.2    | 9.9  |
|     |    | 47.8      | 28.9 | 16.0    | 7.4  | 37.6 | 30.8 | 21.2    | 10.4 |

東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査  
 は平成29年度よりも割合が上回っているもの。



### (3) 葛飾区スポーツ推進計画（前計画：平成30年度～令和4年度）の進捗

施策体系



#### 目標1 日常的なスポーツ活動の推進

区民の誰もがいつでもスポーツや運動ができる施策を推進しました。

親子向けのスポーツ教室や区立の小・中学校で体力向上のための取組、ふれあいスポーツジュニア※等、乳幼児から青少年まで、子どもの体力づくりのための取組を行いました。

また、かつしかふれあいRUNフェスタ等のスポーツ大会やスポーツ教室の開催など、スポーツの参加機会の場の充実を図るとともに、健幸マイレージ事業や特定健康診断結果による保健指導等の健康づくりとしての取組を行いました。

高齢者においては、介護予防※教室、筋力トレーニング、ウォーキング事業などの健康寿命延伸・介護予防※のための取組を行いました。

障害者においては、自主的に安心してスポーツができるよう、障害者スポーツ教室の開催やパラスポーツ団体の設立とともに、ユニバーサルスポーツ※を普及しました。

これらは新型コロナウイルス感染症拡大時の緊急事態宣言中においては活動の一部中止があったものの、以降は感染防止対策を徹底し実施しています。

指標による進捗

かつしかふれあいRUN フェスタエントリー数(人)

| 前計画値         |               | 現状値         |
|--------------|---------------|-------------|
| 平成28年度(2016) | 令和4年度(2022)目標 | 令和3年度(2021) |
| 6,622        | 7,400         | 2,818       |

キャプテン翼CUP かつしか大会来場者数(人)

| 前計画値         |               | 現状値         |
|--------------|---------------|-------------|
| 平成28年度(2016) | 令和4年度(2022)目標 | 令和3年度(2021) |
| 7,700        | 10,000        | 10,100      |

ウォーキング事業の参加者総数(人)

| 前計画値         |               | 現状値         |
|--------------|---------------|-------------|
| 平成28年度(2016) | 令和4年度(2022)目標 | 令和3年度(2021) |
| 81           | 450           | 942         |

ユニバーサルスポーツ事業の参加者総数(人)

| 前計画値         |               | 現状値         |
|--------------|---------------|-------------|
| 平成28年度(2016) | 令和4年度(2022)目標 | 令和3年度(2021) |
| 899          | 1,200         | 1,666       |

## 目標2 スポーツを身近に親しめる環境の整備

区民が安全で安心してスポーツができる場所や環境の整備をしました。

陸上競技場やテニスコートなど区立スポーツ施設の計画的な改修や、新たな施設の整備とともに、学校や公園など区内にある施設を活用して、身近な場所でスポーツや運動ができるよう整備をしました。

また、これらの情報を含む事業の内容やスポーツ講座、イベント等のスポーツ関連の情報を広報紙や区のホームページ、SNSで発信し、区民への周知に努めました。

## 目標3 スポーツをささえる環境づくり

区民がスポーツに親しむことができる機会を拡充するため、スポーツ協働団体の活動促進や団体間の連携に取り組むとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたスポーツ振興に努めました。

指標による進捗

かつしか地域スポーツクラブ会員総数(人)

| 前計画値             |                   | 現状値             |
|------------------|-------------------|-----------------|
| 平成28年度<br>(2016) | 令和4年度<br>(2022)目標 | 令和3年度<br>(2021) |
| 1,196            | 1,670             | 1,109           |

日頃から運動やスポーツをしている区民の割合(%)

| 前計画値             |                   | 現状値             |
|------------------|-------------------|-----------------|
| 平成28年度<br>(2016) | 令和4年度<br>(2022)目標 | 令和3年度<br>(2021) |
| 62.5             | 70.0              | 62.8            |

政策・施策マーケティング調査※

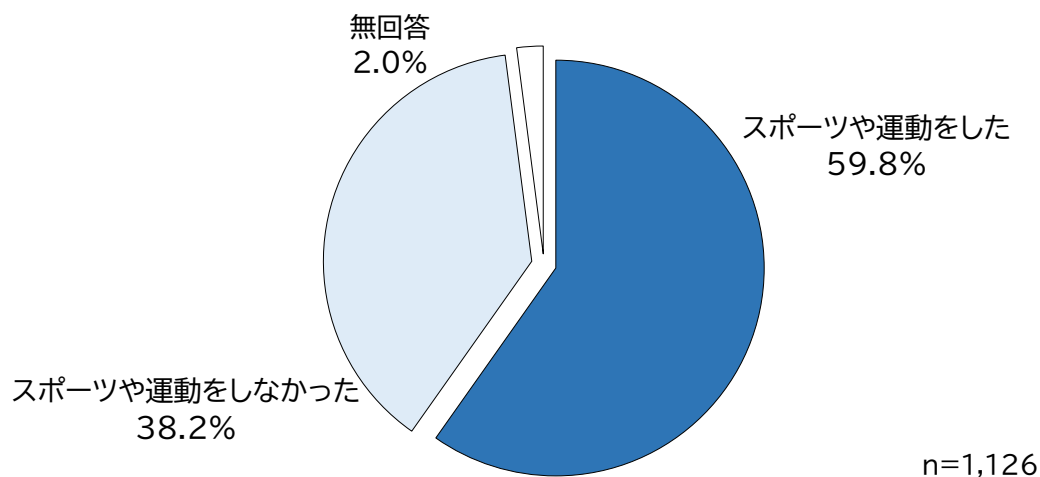
#### (4) 葛飾区スポーツに関する意識調査の概要

区民が日頃スポーツや運動についての意識の動向を確認し、新たな「葛飾区スポーツ推進計画」を策定するための基礎資料とすることを目的に「葛飾区スポーツに関する意識調査」を実施しました。前回は平成28年に実施しています。

- 調査対象 区内居住20歳以上の男女3,000人（無作為抽出）
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間 令和4年5月～6月
- 回収結果 1,126人（前回：1,283人）
- 有効回収率 37.5%（前回：42.8%）

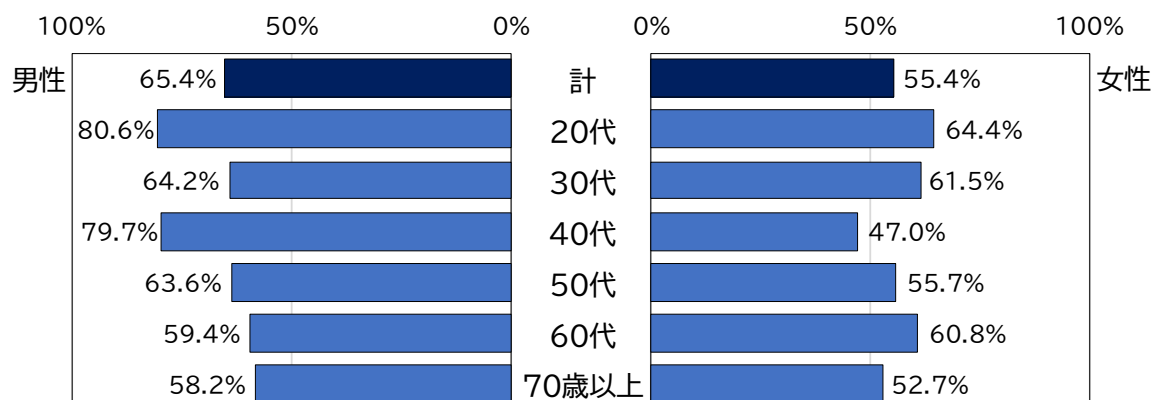
##### ① 区民のスポーツ実施状況について

この1年間のスポーツや運動の実施状況は、「スポーツや運動をした」が59.8%、「スポーツや運動をしなかった」が38.2%となっています。

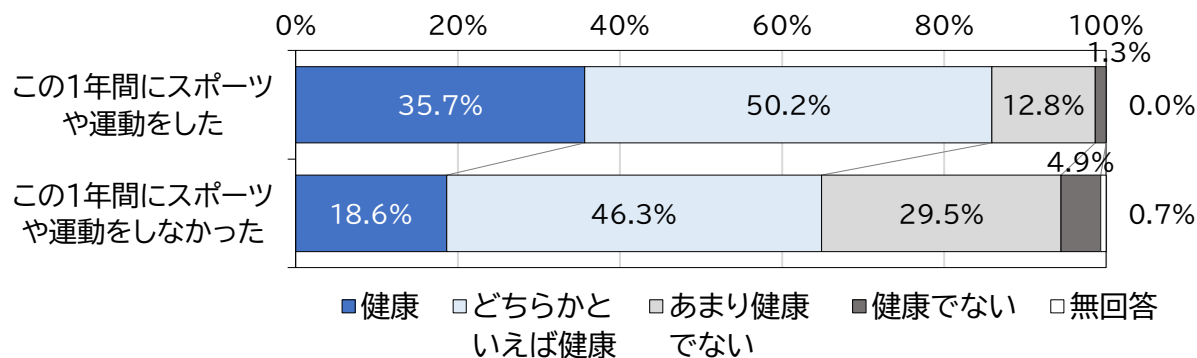


性別・年代別にみると、「スポーツや運動をした」は「女性」に比べ「男性」が多くなっています。中でも「男性」の「20代」、「40代」では約8割と多くなっています。一方「女性」の「40代」は半数を下回り最も少なくなっています。

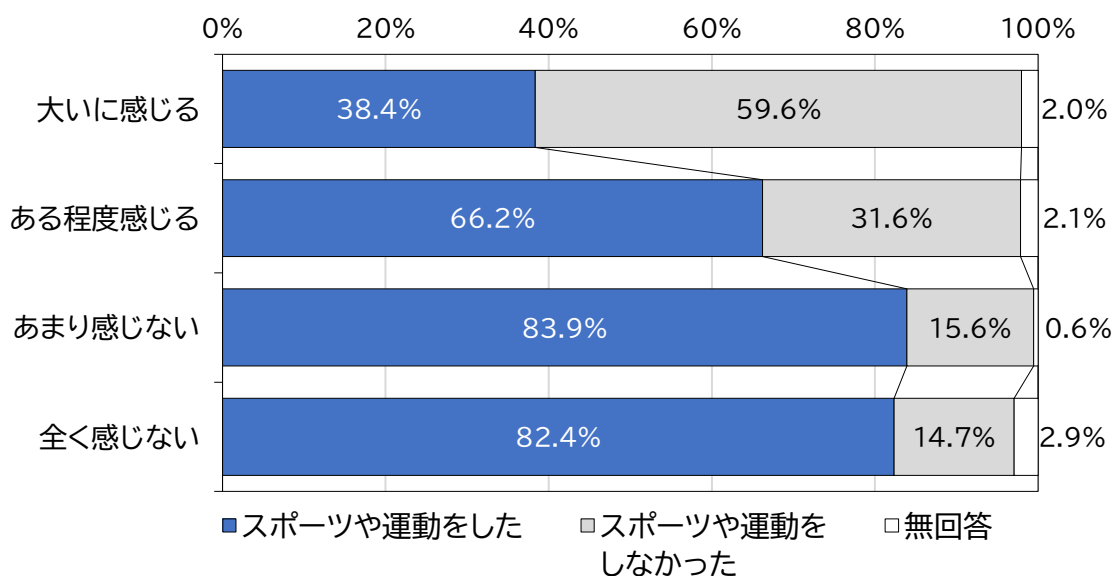
##### 【性別・年代別 スポーツや運動をした人の割合】



運動実施状況別に健康状態をみると、この1年間にスポーツや運動をしたと答えた方の「健康」または「どちらかといえば健康」の割合は85.9%となっており、「スポーツや運動をしなかった」(64.9%)を21.0ポイント上回っています。

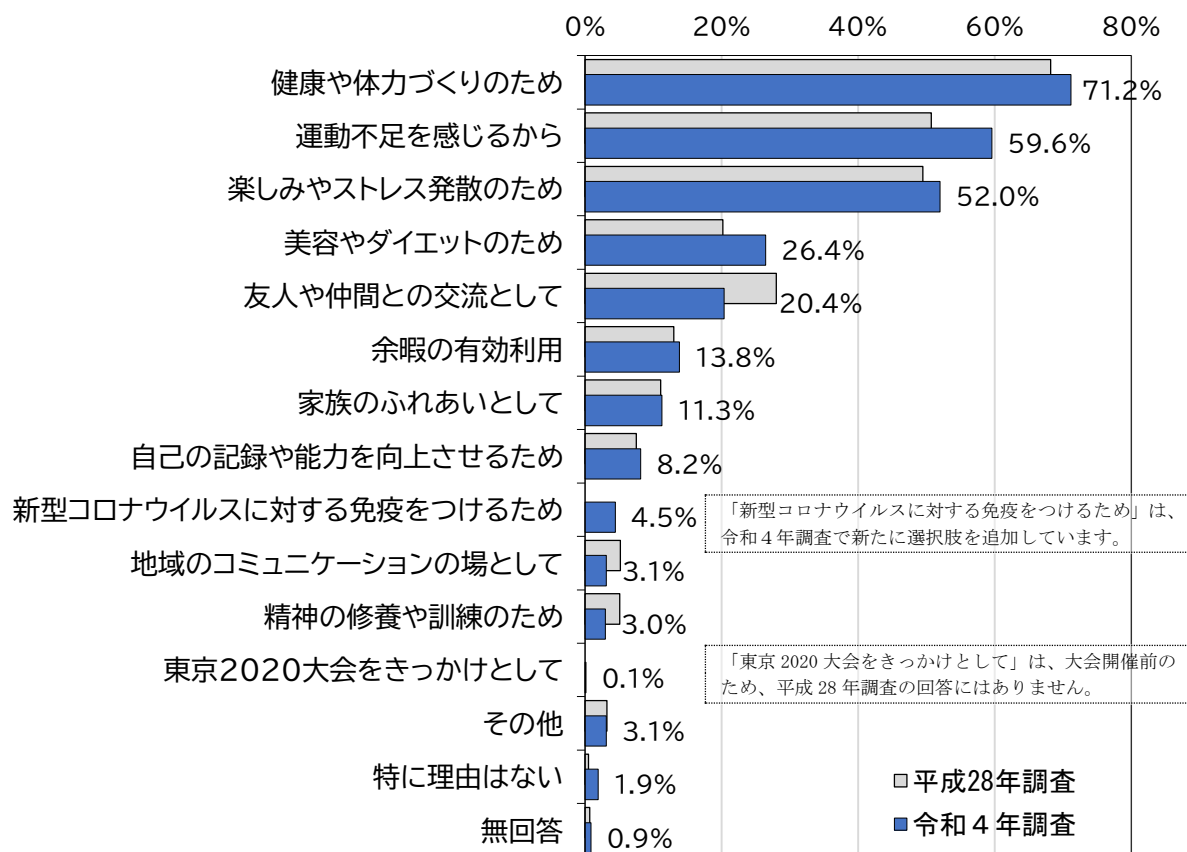


「スポーツや運動をしなかった」場合、運動不足を「大いに感じる」が59.6%、一方で「スポーツや運動をした」場合、運動不足を全く感じないが82.4%となっています。

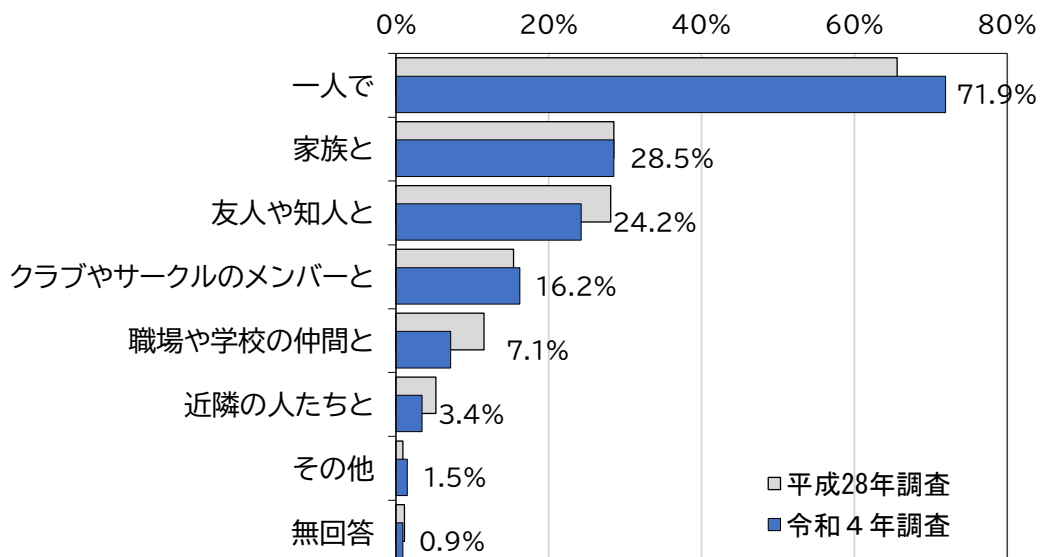


- ◆ スポーツや運動の実施状況は、男女とも半数を超えてはいますが、性別・年齢により差が大きくなっています。
- ◆ スポーツや運動をする・しないによる健康感や運動不足感の差ははっきりしており、スポーツや運動をすることが自身にとって有益な事であることが区民の意識として、表れていることがうかがえます。

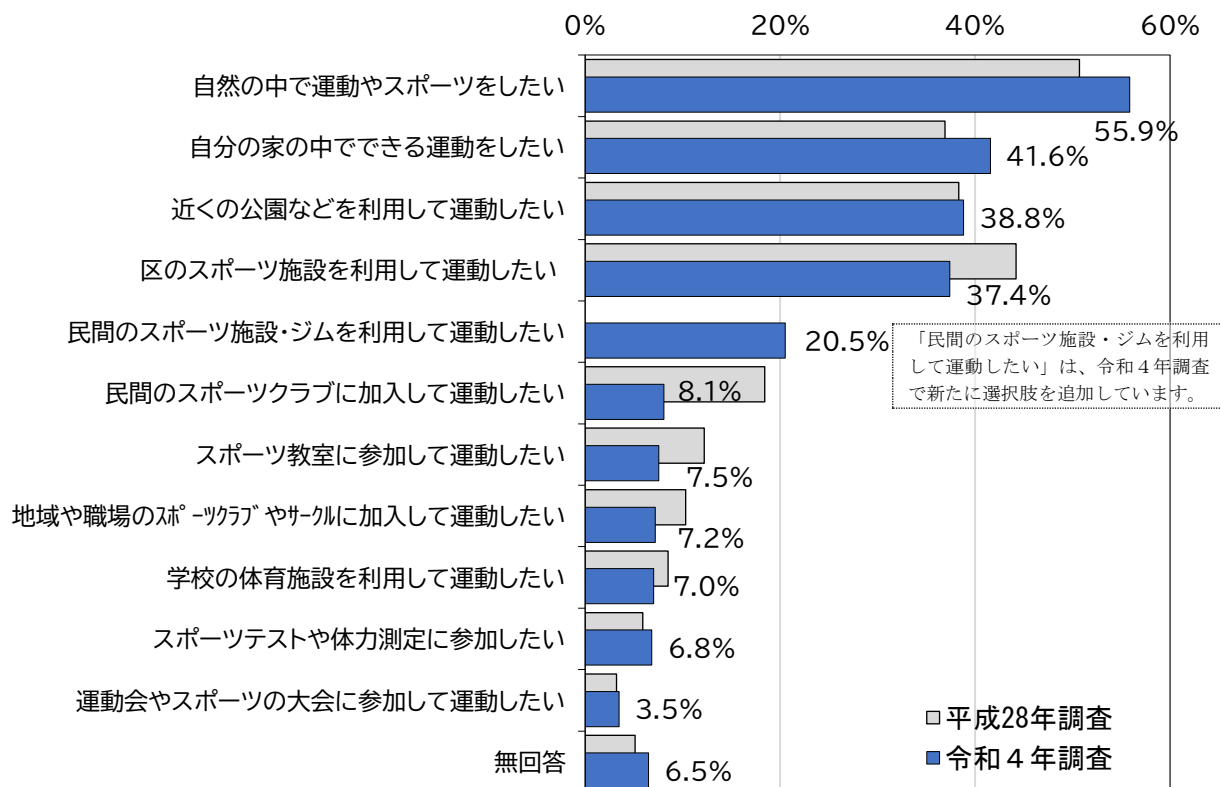
この1年間にスポーツや運動をした方のスポーツや運動を行う理由は、「健康や体力づくりのため」が71.2%と最も多くなっています。次いで、「運動不足を感じるから」(59.6%)、「楽しみやストレス発散のため」(52.0%)、「美容やダイエットのため」(26.4%)などとなっています。平成28年調査と比較すると、「運動不足を感じるから」が8.9ポイントと最も増加しています。一方、「友人や仲間との交流として」が7.6ポイントと最も減少しています。



この1年間にスポーツや運動を実施した方のスポーツや運動を行う仲間について、「一人で」が71.9%と最も多く、次いで「家族と」(28.5%)、「友人や知人と」(24.2%)などとなっています。平成28年調査と比較すると、「一人で」が6.0ポイント増加し、「友人や知人と」では3.9ポイント減少しています。



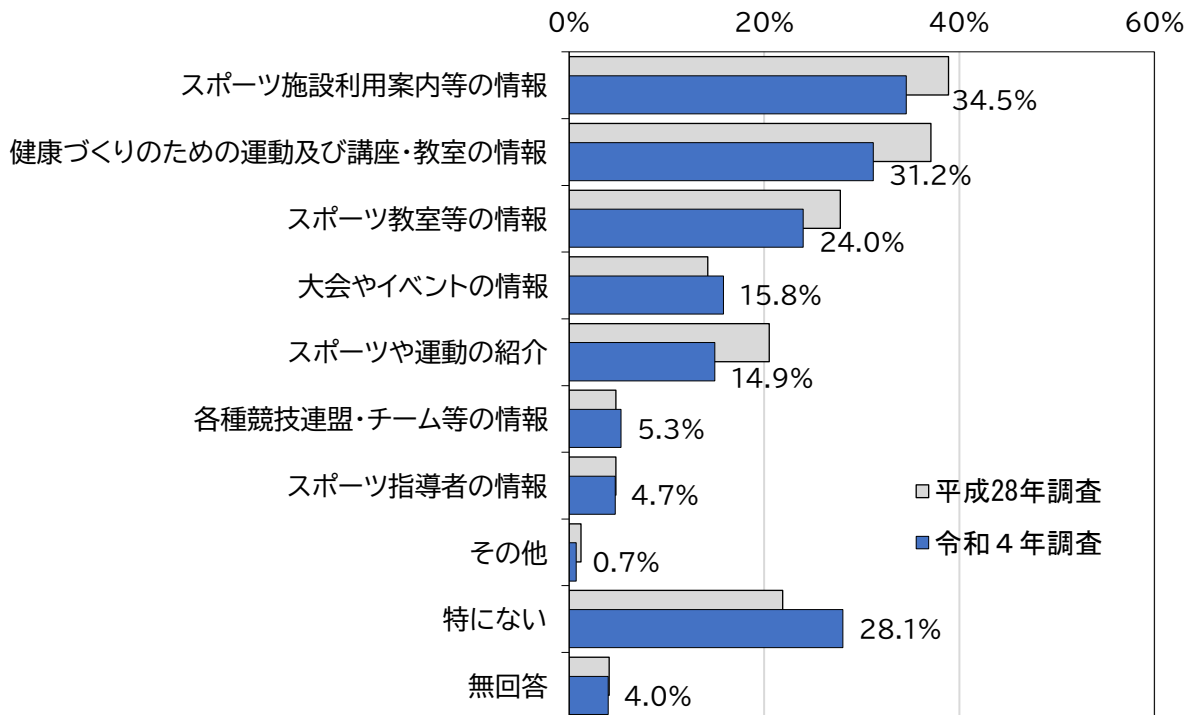
スポーツや運動をしたいと思う機会や場所は、「自然の中で運動やスポーツをしたい」が 55.9%と最も多く、次いで、「自分の家の中でできる運動をしたい」(41.6%)、「近くの公園などを利用して運動したい」(38.8%)、「区のスポーツ施設を利用して運動したい」(37.4%) などとなっています。平成 28 年調査と比較すると、「自然の中で運動やスポーツをしたい」が 5.2 ポイント、「自分の家の中でできる運動をしたい」が 4.7 ポイント増加し、「区のスポーツ施設を利用して運動したい」では 6.8 ポイント減少しています。



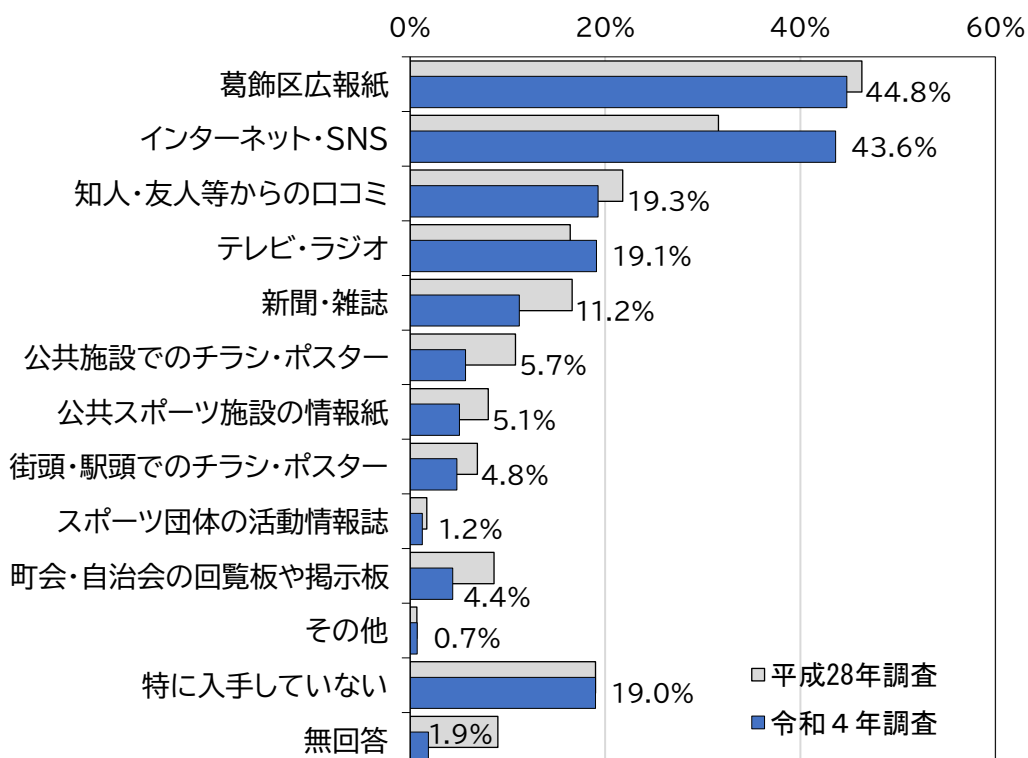
- ◆ 自分自身の健康を意識した理由でスポーツや運動する人の割合が平成 28 年調査よりも多くなっています。
- ◆ 平成 28 年調査と比較して「知人」や「施設」ではなく、「一人で」や「自然の中」、「自分の家の中で」と、新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化により、自分の身近なところでスポーツや運動をする傾向となっています。

## ② スポーツや運動に関する情報について

スポーツや運動に関して知りたい情報は、「スポーツ施設利用案内等の情報」が 34.5%と最も多くなっています。次いで、「健康づくりのための運動及び講座・教室の情報」(31.2%)、「特にない」(28.1%)、「スポーツ教室等の情報」(24.0%) などとなっています。平成 28 年調査と比較すると、「スポーツ施設利用案内等の情報」が 4.4 ポイント、「健康づくりのための運動及び講座・教室の情報」が 5.9 ポイント、「スポーツ教室等の情報」が 3.8 ポイント、「スポーツや運動の紹介」が 5.6 ポイント減少し、「大会やイベントの情報」は 1.6 ポイント、「特にない」が 6.2 ポイント増加しています。



スポーツや運動に関する情報の入手先は、「葛飾区広報紙」が 44.8%と最も多く、次いで「インターネット・SNS」(43.6%)、「友人・知人等からの口コミ」(19.3%)、「テレビ・ラジオ」(19.1%)などとなっています。平成 28 年調査と比較すると、「インターネット・SNS」が 12.0 ポイント、「テレビ・ラジオ」が 2.7 ポイント増加している一方、「葛飾区広報紙」は 1.5 ポイント、「友人・知人等からの口コミ」は 2.5 ポイント、「新聞・雑誌」は 5.4 ポイントなど、他の入手先は減少しています。

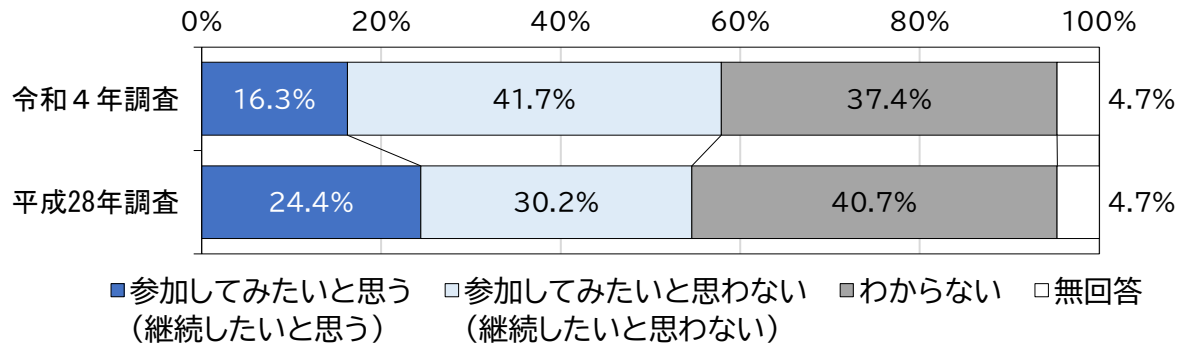


- ◆ スポーツや運動の情報を知りたい人の割合は平成 28 年調査と比べて全体的に減少しており、区民のスポーツや運動への関心が低くなっていることがうかがえます。
- ◆ 情報の入手先について、新聞や雑誌、チラシ、ポスターなどの媒体が平成 28 年調査と比べ減少している一方、インターネットや SNS が大きく増加しています。

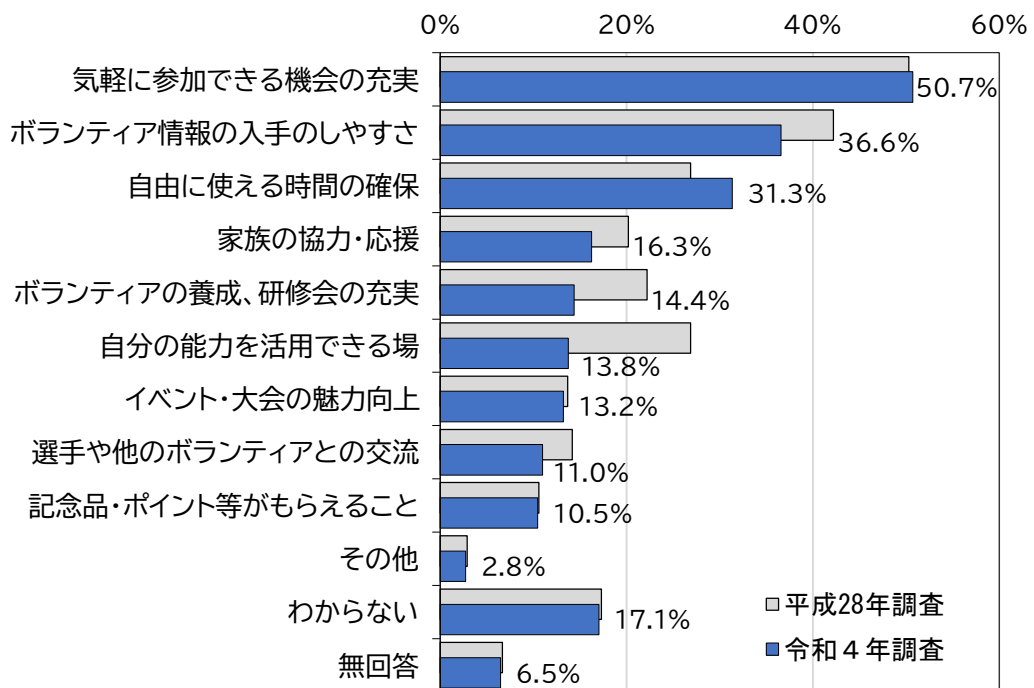


### ③ スポーツや運動に関するボランティアについて

スポーツや運動に関するボランティア活動の参加は、「参加してみたいと思う（継続したいと思う）」が16.3%、「参加してみたいと思わない（継続したいと思わない）」が41.7%、「わからない」が37.4%となっています。平成28年調査と比較すると、「参加してみたいと思う（継続したいと思う）」が8.1ポイント減少し、「参加してみたいと思わない（継続したいと思わない）」が11.5ポイントの増加となっています。



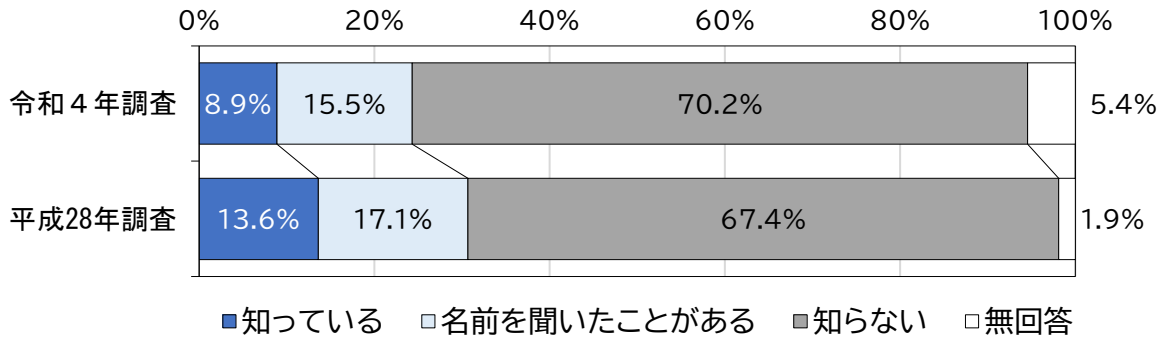
スポーツや運動に関するボランティアをするために必要だと思うことは、「気軽に参加できる機会の充実」が50.7%と最も多く、次いで、「ボランティア情報の入手のしやすさ」(36.6%)、「自由に使える時間の確保」(31.3%)などとなっています。平成28年調査と比較すると、「気軽に参加できる機会の充実」で0.4ポイント、「自由に使える時間の確保」で4.4ポイント増加した以外の項目はすべて減少しています。



- ◆ スポーツボランティアの参加意向が減少してします。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了によるモチベーションの低下が考えられます。
- ◆ ボランティアをするためには、自分自身の状況や都合に合うかどうかが必要だと考える人が増えていると思われます。

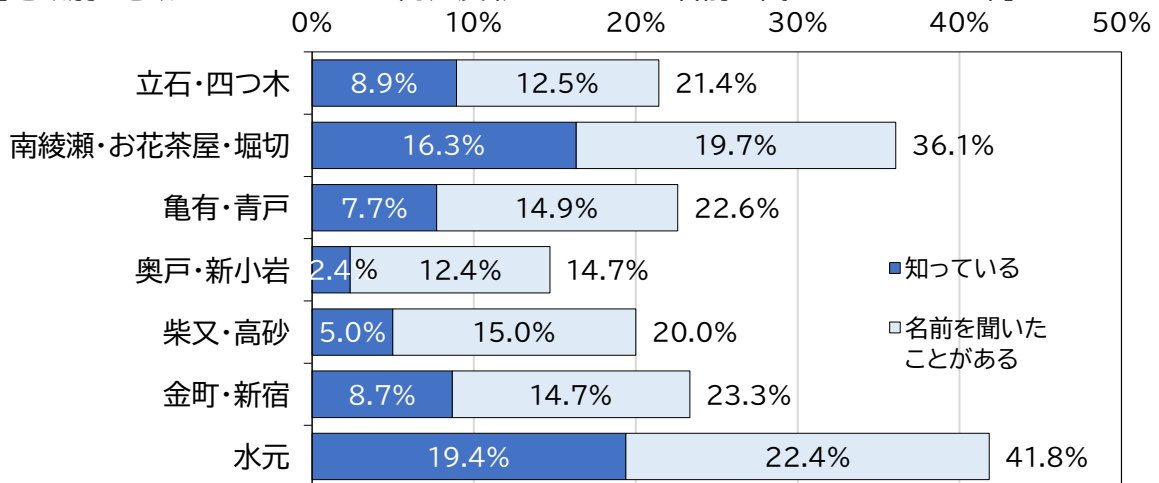
#### ④ 地域スポーツクラブについて

「かつしか地域スポーツクラブ」の認知状況は、「知っている」が8.9%、「名前を聞いたことがある」が15.5%、「知らない」が70.2%となっています。平成28年調査と比較すると、「知っている」が4.7ポイント、「名前を聞いたことがある」が1.6ポイント減少し、「知らない」が2.8ポイント増加しています。

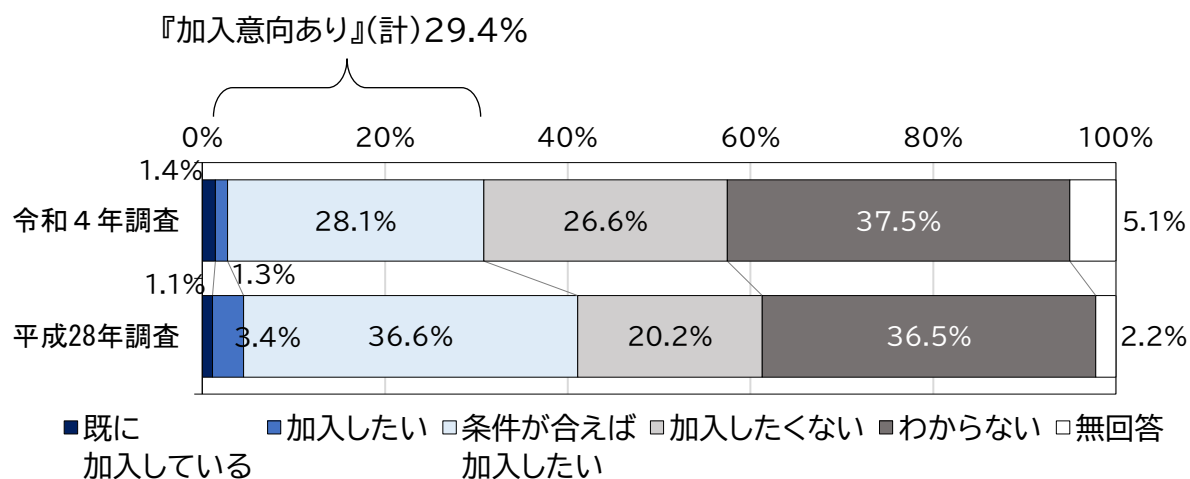


居住地別にみると、「知っている」が「南綾瀬・お花茶屋・堀切」(16.3%)と「水元」(19.4%)と、かつしか地域スポーツクラブのある地域では1割を超えています。それ以外の地域は少なく、「奥戸・新小岩」においては、2.4%と最も少なくなっています。

【地域別 地域スポーツクラブの認知度(知っている+名前を聞いたことがある)】



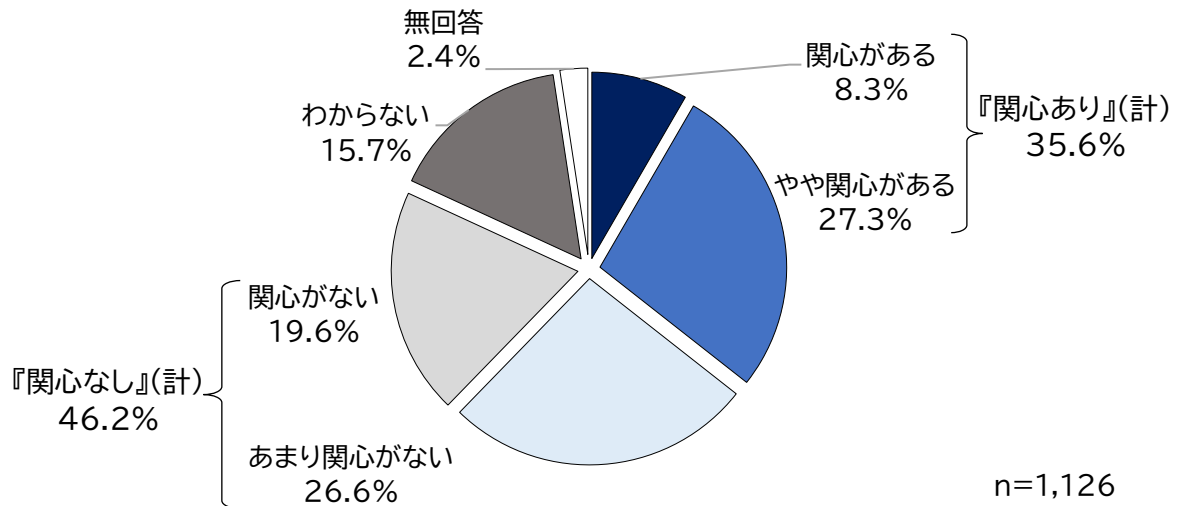
かつしか地域スポーツクラブへの加入意向は、「加入したい」(1.3%)と「条件が合えば加入したい」(28.1%)を合わせた『加入意向あり』が29.4%となっています。一方、「加入したくない」は26.6%、「知らない」は37.5%となっています。平成28年調査と比較すると、「加入したい」が2.1ポイント、「条件が合えば加入したい」が8.5ポイント減少し、「加入したくない」は6.4ポイント、「既に参加している」は0.3ポイント、「わからない」は1.0ポイント増加しています。



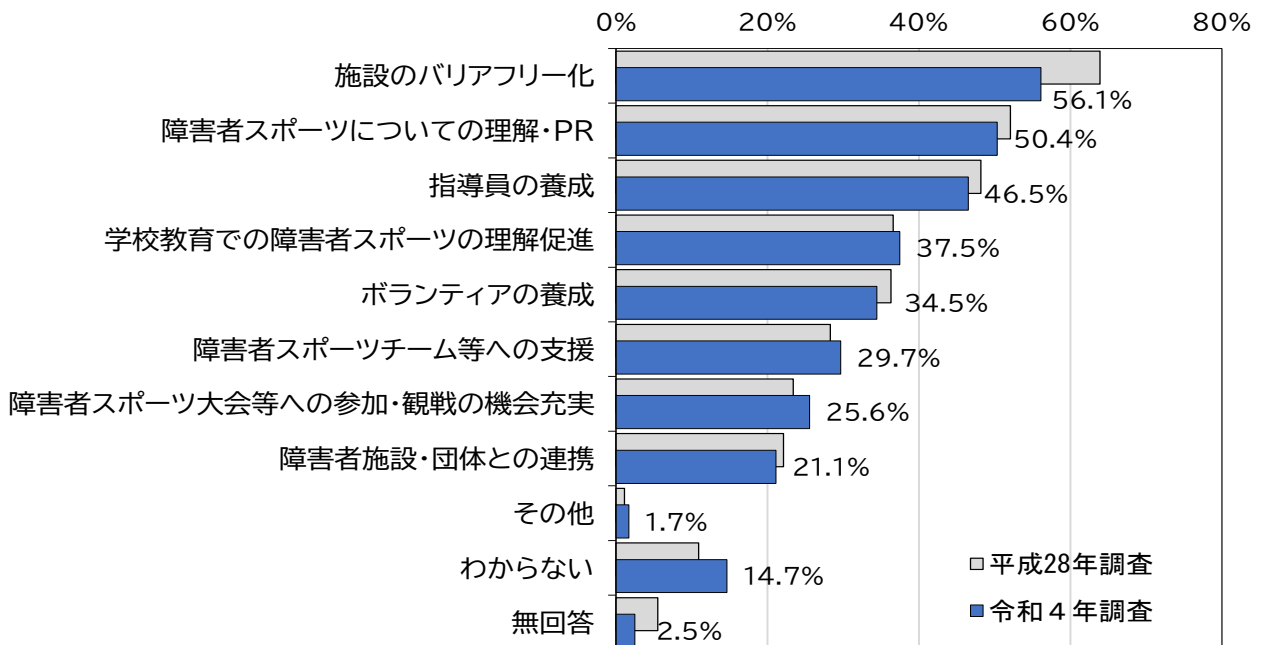
- ◆ かつしか地域スポーツクラブの認知度は平成28年調査よりも下がっています。また、加入意向も平成28年調査と比較して下がっています。
- ◆ 認知度を地域別にみると、かつしか地域スポーツクラブの活動エリアでは比較的認知度が高いものの、他の地域では低くなっています。

### ⑤ 障害者スポーツについて

障害者スポーツの関心度は、「関心がある」(8.3%)と「やや関心がある」(27.3%)を合わせた『関心あり』が35.6%で、「あまり関心がない」(26.6%)と「関心がない」(19.6%)をあわせた『関心なし』は46.2%となっています。



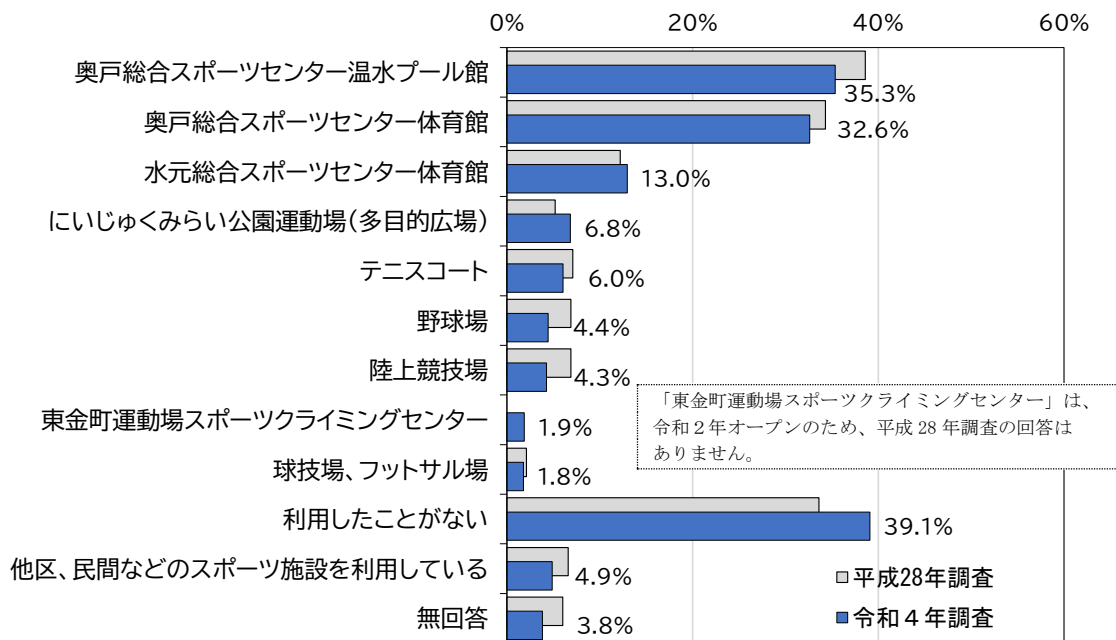
障害者スポーツの振興を図るために必要だと思うことは、「施設のバリアフリー化」が56.1%と最も多く、次いで、「障害者スポーツについての理解・PR」(50.4%)、「指導員の養成」(46.5%)、「学校教育での障害者スポーツの理解促進」(37.5%)、「ボランティアの養成」(34.5%)などとなっています。



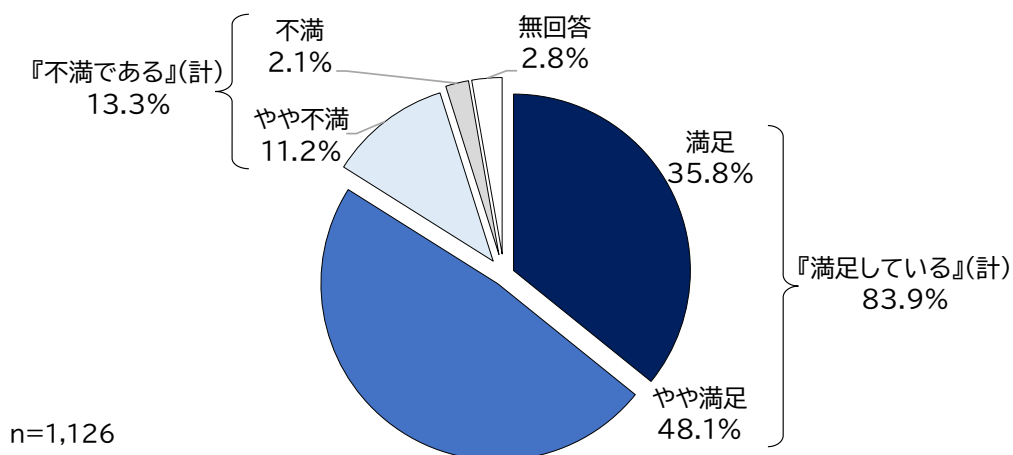
- ◆ 障害者スポーツについては、『関心なし』が『関心あり』よりも上回っています。また、『関心なし』に「わからない」を含めると半数を超えています。
- ◆ 障害者スポーツ振興には、施設整備、障害者スポーツへの理解とPR、指導員等の支える人の充実が必要との声が多くなっています。

## ⑥ 区立スポーツ施設の利用について

区立スポーツ施設の利用状況は、「奥戸総合スポーツセンター温水プール館」が 35.3%と多く、次いで「葛飾区奥戸総合スポーツセンター体育館」(32.6%)、「水元総合スポーツセンター体育館」(13.0%)、「にいじゅくみらい公園運動場(多目的広場)」(6.8%)などとなっています。また、「利用したことがない」は 39.1%と最も多くなっています。平成 28 年調査と比較すると、「水元総合スポーツセンター体育館」、「にいじゅくみらい公園運動場(多目的広場)」、「利用したことがない」が増加していますが、それ以外は減少しています。



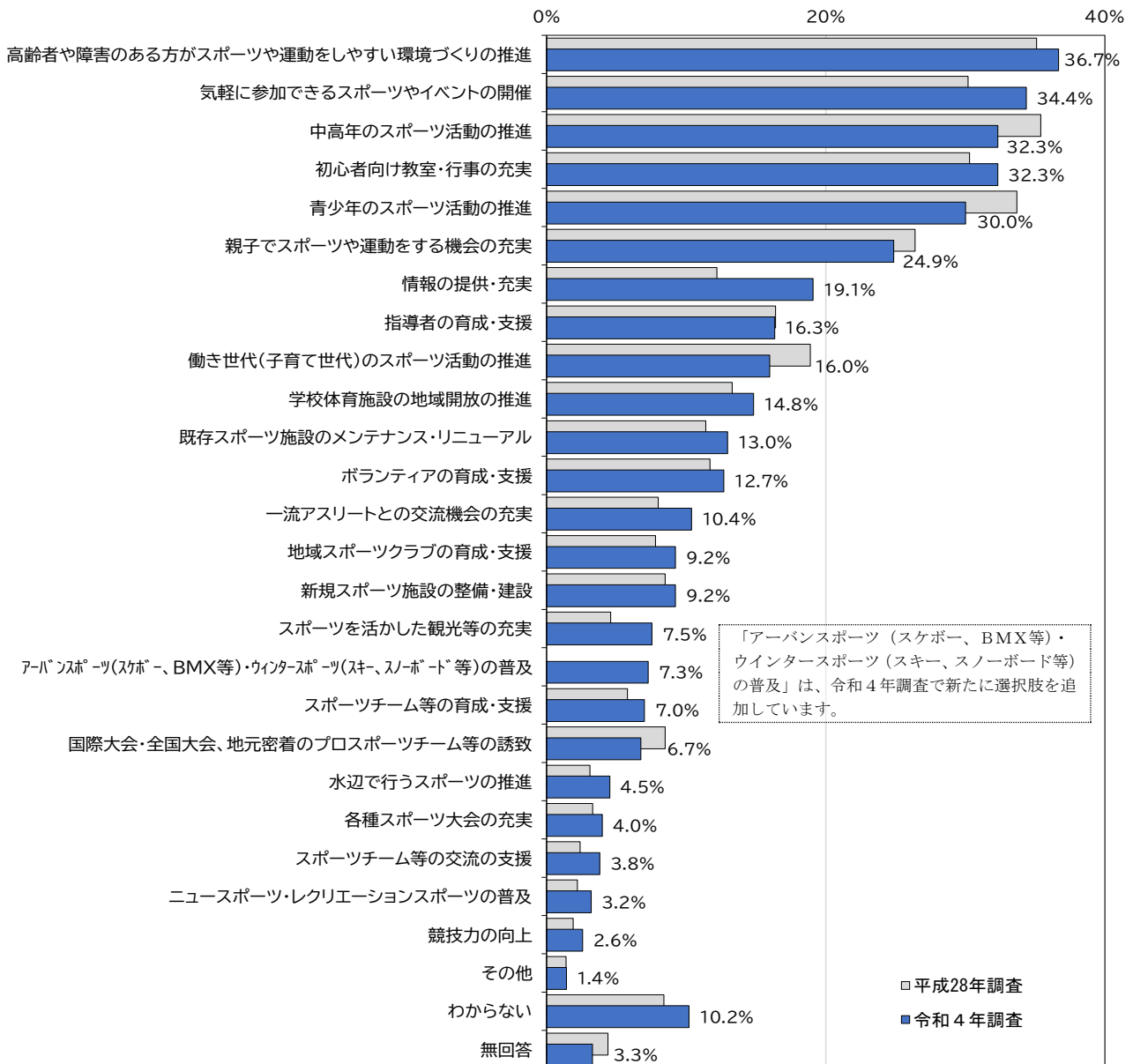
区立スポーツ施設を利用している方の満足度は、「やや満足」が 48.1%と最も多く、「満足」(35.8%)を合わせた『満足している』は 83.9%となっています。一方、「やや不満」(11.2%)と「不満」(2.1%)を合わせた『不満である』は 13.3%となっています。



- ◆ 平成 28 年調査と比べて全体的に区立スポーツ施設の利用は減少し、利用したことがない人が 4 割に近づいていますが、利用満足度は概ね『満足している』が多くなっています。

## ⑦ 葛飾区のスポーツ振興・推進について

区民のスポーツや運動活動を推進するため、今後葛飾区が取り組むべきことは、「高齢者や障害のある方がスポーツや運動をしやすい環境づくりの推進」が36.7%と最も多く、次いで「気軽に参加できるスポーツやイベントの開催」(34.4%)、「中高年のスポーツ活動の推進」(32.3%)、「初心者向け教室・行事の充実」(32.3%)、「青少年のスポーツ活動の推進」(30.0%)などとなっています。平成28年調査と比較すると、「情報の提供・充実」がプラス6.9ポイントと最も増加し、「青少年のスポーツ活動の推進」がマイナス3.7ポイントと最も減少しています。



- ◆平成28年調査と比べて中高年や青少年など年代で分けたスポーツ活動の推進の割合が減った一方、気軽にできるスポーツやイベント、初心者向けの教室等に取り組むべきとの声が増えてきています。
- ◆スポーツに関する情報の提供・充実を求めている声も増えていきます。

## (5) 団体ヒアリング結果

葛飾区のスポーツを取り巻く現状と課題の整理に向けて、アンケート調査では把握しにくい対象の情報を収集するため、葛飾区のスポーツを支える協働団体等にヒアリング調査を実施しました。

### 各団体の課題

#### ① 一般社団法人 葛飾区体育協会

- 各団体から派遣されている理事や運営委員が高齢化している。若い人たちが集まらない。
- 事務局のスタッフは全員パートで専従者がいない。

#### ② 葛飾区スポーツ推進委員協議会

- スポーツ推進委員の活動はやりがいや魅力はあるのだが、引き受けてくれる人が少ない。

#### ③ NPO法人こやのエンジョイくらぶ

- スタッフ・理事会のメンバーが高齢化しており、世代交代が上手にできていない。
- 新しいプログラムが増えているが、若い人達に参加できるようなものが用意できていない。
- 地域で、スポーツや文化に絶えず楽しめるような環境をつくっていく立場だと考えている。

#### ④ 一般社団法人オール水元スポーツクラブ

- 会員やスタッフが高齢化している。
- 新しいことをやっても、会員がいなければ、費用がかかり採算がとれない。

#### ⑤ 葛飾区体育施設指定管理者

- コロナ禍が終わっても感染症対策は続くのでどこまで対策をすればよいのか。
- 新規の方をどうすれば施設に連れてこられるか。
- 陸上競技場と体育館などで大会が重なったりすると、駐車場が満車になってしまう。

#### ⑥ 東京都立水元小合学園

- 在学中はスポーツ活動ができるが、卒業すると運動できる場を知らないので運動をしなくなる。
- 専門的な指導員が知らないスポーツは活動が難しい。

### 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や新型コロナウイルス感染症拡大による活動への影響

#### ① 一般社団法人 葛飾区体育協会

- メダルを取った種目や露出の多い種目では、子どもも大人も参加する機会が増えている。
- 新型コロナウイルスの影響で入場が制限されていたが、実際の観戦をしていればもっとスポーツに参加する人が増えたと思う。
- 相手と直接接触する競技は、新型コロナウイルスの影響で実施できず、技術が低下している。

#### ② 葛飾区スポーツ推進委員協議会

- 室内のほとんどの行事は休止した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に迫られた。
- 新型コロナウイルスによる自粛はあったが、スポーツしたい、体を動かしたいというニーズは根強くあると感じた。

#### ③ NPO法人こやのエンジョイくらぶ

- コロナ禍による会場定員の制限や中止などもあって、休・退会者が増えた。コロナ禍が落ち着いたので会員は戻ってきてはいるがコロナ禍前より会員数は減少している。

#### ④ 一般社団法人オール水元スポーツクラブ

- パラリンピック直後に、ボッチャ参加者の増加で、会場が狭くなったとの相談を受けた。
- コロナ禍の自粛が徐々に緩和されてきたので、入会・再入会が少しずつ増えている。
- 地域のイベントの手伝いをしていましたが、コロナ禍の影響による中止で、活動のPRができなくなった。

#### ⑤ 葛飾区体育施設指定管理者

- 水元はバレーボールの練習会場だったのでサインなど掲示したら見に来る人が増えた。
- オリンピックが近づくとつれて関連グッズの購入が増えた。
- コロナ禍での利用制限により、民間施設に利用者が移行した。

#### ⑥ 東京都立水元小合学園

- 授業でスポーツの紹介や実践、アスリートの講義によって、興味関心は増えたと感じている。
- オリンピック・パラリンピック観戦も予定したが、コロナ禍で中断された。
- コロナ禍により、体育や部活動などの制限や自粛を余儀なくされた。

### 葛飾区のスポーツ推進に求めること 等

#### ① 一般社団法人 葛飾区体育協会

- 自分たちの地域の身近な場所でスポーツができる施設を充実させてほしい。
- 各種スポーツの活動を知らない区民のために、行政と団体とで効果のある情報発信が必要。
- 区内に住んでいる外国人が気軽に参加できる環境を整え、広報していくことが必要。
- スポーツ（種目）に興味を持つ人が増えれば、本気で取り組む人も増える。

#### ② 葛飾区スポーツ推進委員協議会

- 区民にニュースポーツ\*を紹介し、普及させ、競技人口を増やして、体育協会に所属できるような団体を作ったり、大会を開催したりするような取組をしたい。

#### ③ NPO法人こやのエンジョイくらぶ

- 葛飾区の地域スポーツクラブとしての役割を計画の中で明確にしてほしい。
- スポーツを通じたコミュニティの意味は大きい。活動が継続してできるよう環境の整備を進めることが必要。

#### ④ 一般社団法人オール水元スポーツクラブ

- 地域スポーツクラブの詳細を紹介して周知してほしい。
- トップアスリートをもっと育てる。
- 地域のスポーツクラブ、体育協会、民間スポーツ施設をまとめていくためのベースが必要。

#### ⑤ 葛飾区体育施設指定管理者

- 大規模大会実施のスポーツに対する興味から区民のスポーツ人口の増加に繋がる。
- スポーツを「みる」観点を強く押し出せる事業があれば。

#### ⑥ 東京都立水元小合学園

- 区の施設の時間帯や曜日などで利用者の区分があれば、計画的な利用が可能になる。
- 地域の活動の協議会等に参加して連携し、区の施設を有効に利用したい。
- 外部指導員の情報提供と相談や人材派遣されるような組織的な連携が図れる仕組み。
- 地域でスポーツ活動のできる施設の情報を紹介と見学や体験できる場が必要。



## (6) 葛飾区のスポーツ推進の課題

葛飾区のスポーツに関する取組や区民のスポーツに対する意識、国や都などのスポーツ施策に関する動向等を踏まえ、今後の葛飾区が取り組むべきスポーツ推進における課題を整理します。

### ① 生活意識の変化に対応したスポーツ推進の取組

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言や重点措置期間での外出自粛に加え、感染症対策のためのマスクの着用や手指の消毒が徹底されるなど、人々の生活環境や考え方が大きく変化しています。それに伴い、区民のスポーツや運動に関する意識や状況、環境にも変化が起きています。

区民の誰もが気軽にいつでもスポーツや運動ができるよう社会状況の変化に柔軟に対応した取組が必要です。

#### ◆ 自分のスタイルにあったスポーツや運動の実施

区民のスポーツや運動実施状況はやや増加したものの、年代性別にみると、男性の30代及び50代以上と女性の40代で全体より低い数値となっており、いわゆる「働き盛り世代」及び「定年を迎えた世代」の運動実施率が低くなっています。また、運動の目的が健康管理を意識していることや実施場所も自然の中や家の中など、身近な環境での実施が増えている傾向があります。

スポーツや運動の内容や頻度、場所も目的も世代によって異なることから、ライフステージや自身の趣味・関心、生活状況に即したスポーツや運動ができることが重要です。

#### ・ 子どもの体力づくり

子どもの運動実施状況は減少しています。幼少期からの体力づくりは心身の成長には欠かせないものです。スポーツ・運動を習慣付け、体力の向上を図るほか、多くのスポーツを知り、体験することで、好きなスポーツ、自分にあったスポーツを見つけることのできる取組が必要です。

#### ・ 働き盛り世代のスポーツ

男女ともに20代までは活発にスポーツ活動に取り組んでいることがわかりますが、仕事や子育て等の生活の中心となる負担増からか、30・40代以上の世代は、スポーツ活動に触れる機会が減っているように見受けられます。

多忙な働き世代が、スポーツ活動に取り組むためには、家族や仲間に参加できるイベントプログラムや、タイミングや場所を問わずに実施できるスポーツプログラムを提供していくことが必要です。

#### ・ 高齢者のスポーツ

高齢者がスポーツや運動をしやすい環境づくりや高齢者のスポーツ活動の推進に取り組むべきとの声が多くあります。高齢者が行うスポーツや運動は、健康づくりや介護予防<sup>※</sup>など健康寿命延伸の目的の他に、スポーツや運動を通じた生きがいづくりや地域の仲間づくりとしての役割もあります。

高齢者が自ら積極的にスポーツや運動に参加できるよう健康づくりや介護予防<sup>※</sup>等の参加機会の提供を充実させることが必要です。

## ・障害者のスポーツ

障害者が積極的にスポーツや運動ができるようになるためには、施設のバリアフリー化等のハード面の環境整備をする他、指導者などの支える人たちの育成・確保とともに、障害のある人もない人も一緒に実施できるユニバーサルスポーツ\*の普及・啓発などソフト面を充実することにより、区民の障害者スポーツへの理解を深めることが必要です。

### ◆ スポーツ大会・スポーツイベントの充実

新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言、重点措置期間などで、スポーツイベントやスポーツ教室の開催中止、外出自粛の反動より、スポーツや運動をしたい、大会やイベントに参加したいとの声が多くあります。

区民の意向に応じたスポーツ大会やスポーツイベントの開催等による、誰もがスポーツや運動に参加できる機会を充実することが必要です。また、高齢化が進む中、各競技のルールを柔軟に変更するなど、いつまでも競技経験ができる取組が必要です。

### ◆ 区内全域のスポーツ施設、どこでもスポーツのできる場（地域の場の活用）

スポーツや運動をしたい場所として、「自然の中」や「自分の家」、「近くの公園」、「区の施設」など、様々な場所でできるよう求められています。どこに住んでいても身近にスポーツや運動を楽しむことができるようスポーツや運動をすることができる校庭や体育館などの学校施設や地域コミュニティ施設、公園等の施設の積極的な活用が必要です。

また、障害者スポーツ推進において施設のバリアフリー化等の環境整備や、指導者などの支える人たちの育成・確保を求める声が多いことから、障害者が気軽にスポーツや運動ができるスポーツ施設の環境を整備することが必要です。

### ◆ 施設利用の工夫

区立のスポーツ施設の利用満足度はほとんどが満足との回答をしている一方、施設が予約できなくて利用できないとの声もあります。多くの区民及びスポーツ協働団体が区内のスポーツ施設を公平で偏りのない利用ができるよう、細やかな調整が必要です。また、予約方法への不満の声も多いことから、予約システムの改修や利用方法についての工夫も必要です。

## ② スポーツを支える人の体制強化

新型コロナウイルス感染症拡大や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の終了により、区民全体のスポーツボランティアへの意識が薄れてきつつあります。また、スポーツ協働団体での担い手の高齢化や人材不足とともに、新型コロナウイルス感染症拡大によるスポーツ協働団体の活動制限があったため、スポーツの推進に大きな影響が出ています。

スポーツを支える人のための盤石な体制づくり等の取組が必要です。

### ◆ スポーツボランティア参加意向の喚起と人材育成体制の充実

スポーツや運動に関するボランティアの登録者は増えていますが、意識調査では参加意向は減少しており、スポーツボランティアを行う人・行わない人で二極化しています。また、ボランティアを行う動機付けとして気軽に参加できること、情報の入手のしやすさ、時間の確保（自身のタイミングで自由に参加できる）が求められています。

スポーツボランティアの必要性の理解を広げるとともに、参加希望者を増やし、誰もが気軽に参加できる仕組みづくりとともに、中核を担う人材の育成が必要です。

### ◆ 地域でスポーツを支える人たちが活躍できる環境

スポーツを支える協働団体の担い手の高齢化や新たな担い手不足が常態化しているなかで、新型コロナウイルス感染症拡大による活動の休止、さらに東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が終わったことで、今後の協働団体がどのように活動していくのが課題です。スポーツを支える人の人材確保・育成とともに、体制強化のための取組が必要です。

#### ・ スポーツを支える担い手への取組

葛飾区体育協会やかつしか地域スポーツクラブ等のスポーツ協働団体では、担い手の高齢化とともに、新たな担い手においても、知人等の紹介や口コミ等によるため人員を十分に確保できず、限られた人で葛飾区のスポーツを支えている状況となっています。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大による活動の休止が区民の生活環境によるスポーツの取り組み方に変化をあたえており、スポーツ協働団体の組織運営にも大きな影響を与えています。

スポーツ協働団体への人的・物的への適切な支援とともに、スポーツを実施するうえでの仕組みを検討・再構築し、担い手の負担を軽減してより質の高い活動ができるようにする等、スポーツを支える人たちの充実等を図ることが必要です。

#### ・ スポーツに関わる団体・機関の連携・協働

葛飾区におけるスポーツや運動を推進するために、区とともに、体育協会や地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員協議会とが連携・協働して取り組んできました。しかし、区民の生活意識の変化によるスポーツ活動に対する取組の変化に対応するためには、スポーツを支える人たちの更なる強い連携と協働が求められます。区とスポーツ協働団体の他に民間の事業者等も連携・協働し、スポーツを支える人の輪を広げ、活躍できる環境を整えることが必要です。

### ③ スポーツ関連情報の充実と工夫した情報発信

#### ◆ スポーツの情報・スポーツの魅力を発信

区民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツや運動ができるようになるためには、どのようなスポーツや運動があるのか、どこでできるのか、いつできるのか等のスポーツの情報を知ることが重要です。また、地域スポーツクラブの認知度が低いことと同時に葛飾区のスポーツ関連事業についても区民に広く認知されているものは少ないのが現状です。

また、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で注目を浴びた種目は、そのスポーツを体験したいという声が増えています。スポーツの情報を広く発信するとスポーツをみる人が増えるとともに、魅力が広がり、そして体験したいと思う人が増えることで、競技人口も増え、さらに競技の技術力の向上や競技大会の開催へと繋がっていきます。

スポーツ関連の情報とともに、スポーツの魅力を発信する媒体等や発信方法を工夫し、できる限り多くの区民へスポーツの魅力を広く伝え、関心を高める取組が必要です。

#### ◆ スポーツを支える人と団体間の連携・協働のための情報交換の場

葛飾区やスポーツ協働団体との連携・協働では交流等による情報交換は重要ですが、団体間との交流が多いとはいえ、他団体の状況や情報を知りたいという声が多くあります。また、スポーツボランティアの参加者を増やすために必要なこととして、情報入手のしやすさを求める声が多くなっています。

スポーツ協働団体の担い手不足解消やスポーツボランティアの拡充などスポーツを支える人の体制に関する課題解消のための一つとして、他団体の状況や情報の周知だけでなく、連携・協働するために互いの状況や意向を理解するための情報交換の場が必要です。

#### ◆ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした葛飾区のスポーツの振興

葛飾区では東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、ボッチャ競技普及による協会の設立や東金町運動場スポーツライミングセンターの整備による競技者への周知と集客、スポーツボランティア制度の立ち上げ等でスポーツの魅力を伝え、区民のスポーツに対する興味や関心の向上を図ってきました。

それらの取組によって培ってきた興味や関心を一時的なものにせず、スポーツの魅力発信に継続して取り組み、区民のスポーツ活動に繋げていくことが必要です。

## 第3章 本計画の方向性

### 1 本計画の基本理念

区民の誰もが、身近な場所で、それぞれの体力や年齢、技術、趣味、目的に応じた、自分にあったスポーツに親しむことができるよう、前計画の基本理念を継承し、さらなるスポーツ推進を目指します。

**区民が身近な地域で「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」  
自分にあった形でスポーツ活動に親しみ、スポーツを通じた  
健康で元気な葛飾づくりを推進します。**

### 2 本計画の目標

葛飾区基本計画※をはじめとした葛飾区の関連計画等において定めたスポーツに関わる政策・施策等との整合性を図るとともに、国のスポーツ基本計画、都のスポーツ推進総合計画を参酌し、SDGsで謳われている目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標4「質の高い教育をみんなに」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に寄与することを目指し、本計画の目標を設定します。



#### 目標1 スポーツを「する」人の拡大

スポーツには軽い運動や気軽に楽しめるレクリエーションスポーツなどから競技性の高い種目のスポーツなど多種多様な種目があり、それぞれに面白さや醍醐味が異なります。区民の誰もが、身近な地域で、自分にあった形のスポーツ・運動に出会い、親しみ、定期的・継続的に行えるようスポーツに触れる機会を充実し、心身の健康及び体力の保持増進や健康寿命の延伸に取り組みます。

#### 目標2 スポーツが「できる」環境の整備

誰もが気軽にスポーツに楽しみ、スポーツや運動を習慣にするためには、身の回りにある身近なスポーツ環境の充実が必要です。スポーツ施設等を安心・安全・便利に利用できるよう適正な整備をし、区民が身近な場所でスポーツ活動に取り組めるような環境の充実を図ります。

#### 目標3 スポーツを「ささえる」活動の基盤強化

区民が身近な地域で自分にあったスポーツや運動をするために、イベントの運営やスポーツ指導など現場を「ささえる」スポーツ協働団体やスポーツボランティアは、なくてはならない存在です。スポーツ協働団体の活動をより充実させるためにも、団体相互の連携を図り、スポーツボランティアの充実と合わせて、葛飾区のスポーツ推進を下支えする体制の更なる強化を図ります。

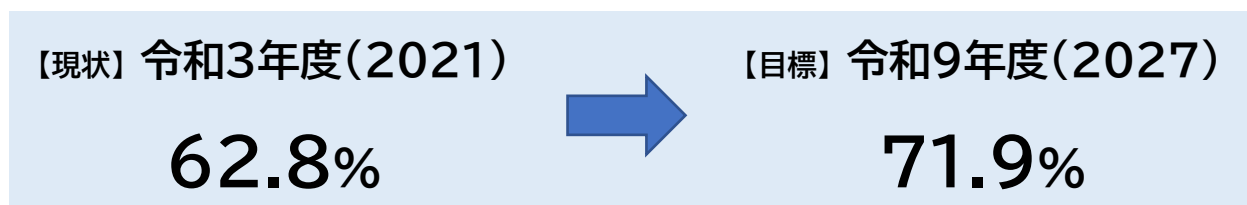
#### 目標4 スポーツを「みせる」環境の整備

スポーツを「みる」ことは最も手軽なスポーツの関わり方です。スポーツを知り、観戦し、その醍醐味を感じることでスポーツへの関心や意欲を高めます。「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ活動ができるよう、スポーツに関わるすべての活動における楽しさや、やりがい、魅力を区民に伝える取組を推進します。

### 3 本計画の数値目標

本計画の目指す成果として次の目標を設定します。

#### 日頃から運動やスポーツをしている区民の割合



政策・施策マーケティング調査\*

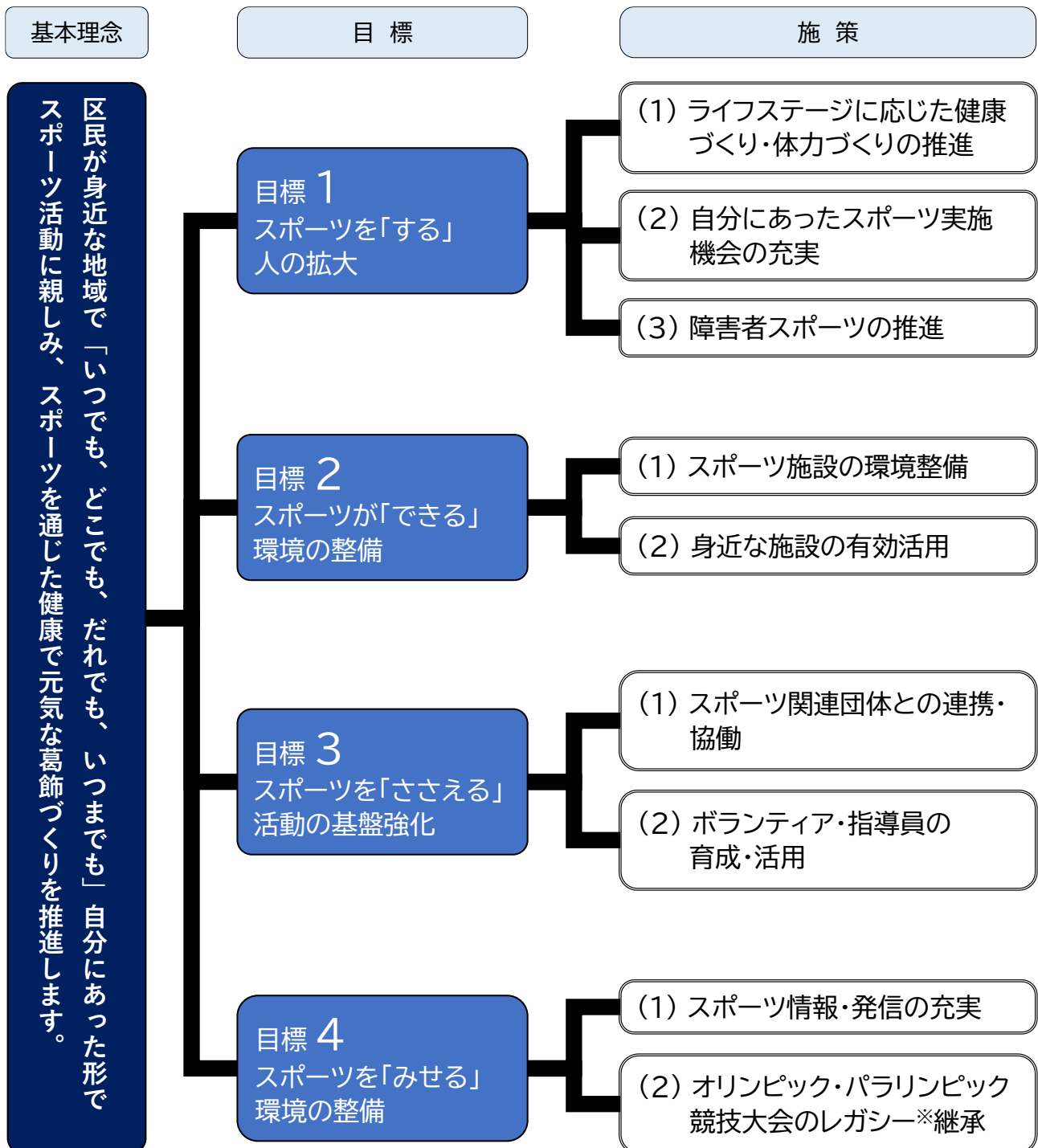
### 4 課題と4つの目標の対応について

葛飾区を取り巻く現状の課題と4つの目標への対応は以下のとおりです。

| 課題  | 目標                     |                          |                            |                          |
|---|------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------|
|   | 1<br>スポーツを「する」<br>人の拡大 | 2<br>スポーツが「できる」<br>環境の整備 | 3<br>スポーツを「楽しむ」<br>活動の基盤強化 | 4<br>スポーツを「みせる」<br>環境の整備 |
| <b>① 生活意識の変化に対応したスポーツ推進の取組</b>                  |                        |                          |                            |                          |
| 自分のスタイルにあったスポーツや運動の実施                           | ○                      |                          |                            |                          |
| スポーツ大会・スポーツイベントの充実                              | ○                      |                          |                            |                          |
| 区内全域のスポーツ施設、どこでもスポーツのできる場<br>(地域の場の活用)          |                        | ○                        |                            |                          |
| 施設利用の工夫   |                        | ○                        |                            |                          |
| <b>② スポーツを支える人の体制強化</b>                         |                        |                          |                            |                          |
| スポーツボランティア参加意向の喚起と人材育成体制の充実                     |                        |                          | ○                          |                          |
| 地域でスポーツを支える人たちが活躍できる環境                          |                        |                          | ○                          |                          |
| <b>③ スポーツ関連情報の充実と工夫した情報発信</b>                   |                        |                          |                            |                          |
| スポーツの情報・スポーツの魅力を発信                              |                        |                          |                            | ○                        |
| スポーツを支える人と団体間の連携・協働のための<br>情報交換の場               |                        |                          | ○                          | ○                        |
| 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機<br>とした葛飾区のスポーツの振興 |                        |                          |                            | ○                        |

## 5 施策体系

本計画では、基本理念に基づいた4つの目標を達成するために、以下に示す体系で施策を推進します。



## 6 計画の取組

### 目標1 スポーツを「する」人の拡大

区民の誰もが、身近な地域で、自分にあった形のスポーツ・運動に出会い、親しみ、定期的・継続的に行えるようスポーツに触れる機会を充実し、心身の健康及び体力の保持増進や健康寿命の延伸に取り組めます。

#### (1) ライフステージに応じた健康づくり・体力づくりの推進

スポーツは子どもの体力向上や心身の成長のためには欠かせないものです。また、生涯にわたってスポーツに親しむ生活習慣を身に付けることで、心身の健康維持や増進につながり、豊かな生活を送ることができます。

子どもころからの運動を習慣化するための取組から、高齢者の介護予防<sup>※</sup>のための取組まで、生涯にわたりライフステージに応じてスポーツの楽しさや素晴らしさへの理解を深めることができる機会の充実を図ります。



フロアホッケー体験コーナーの様子



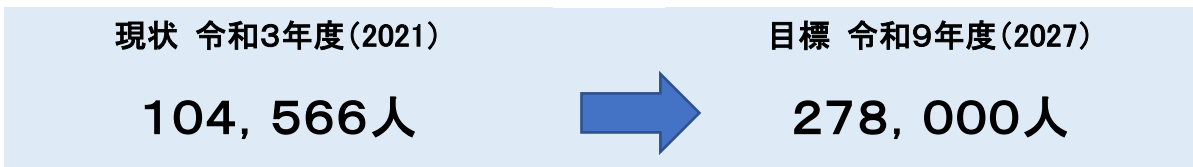
● 主な取組 ★印は指標がある取組

|          |   |
|----------|---|
| <p>1</p> | <p><b>健康長寿のまち、葛飾</b></p> <p>子どもから高齢者まで、あらゆる年代の区民がスポーツに親しみ、日常生活の中に運動習慣を取り入れることができる環境を整備することで、生涯を通じての、切れ目のない健康づくりを支援し、いつまでも元気で若々しく活躍できるまちをつくります。</p> <p style="text-align: right;">【地域包括ケア担当課】【国保年金課】【健康づくり課】【生涯スポーツ課】</p>  |
| <p>2</p> | <p><b>★スポーツ事業(指定管理者自主事業等)</b></p> <p>子どもから高齢者、障害者など、誰もがスポーツ活動にふれあうためのスポーツ事業を開催していきます。とりわけ子どもについては、幼児期から親と一緒に身体を動かすことにより、健やかな発育・発達に効果的であるため、葛飾区の体育施設において乳幼児向け・親子向けの「スポーツコース※」等を指定管理者事業として実施していきます。</p> <p>また、ソーシャルディスタンス等の感染症対策に十分留意したうえで、スポーツを通して親子の交流を深め、乳幼児の健やかな発達を促す場を提供します。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>   |
| <p>3</p> | <p><b>区民の総合的な健康づくり支援事業※</b></p> <p>健康寿命の延伸のため、区民と区内事業所で働く方が、スマートフォンアプリを用いて、日々の歩数や体重の記録を行い、健康的な生活習慣や行動、健診受診、健康づくり事業への参加などを通じて、時間を確保しづらい働く世代の方も楽しみながら自らの健康を意識し、心、体、栄養及び口腔衛生等の総合的な健康づくりに取り組むことを支援します。</p> <p style="text-align: right;">【健康づくり課】</p>   |
| <p>4</p> | <p><b>特定保健指導</b></p> <p>特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症のおそれがある方に医師や保健師、管理栄養士などの専門家が、面接などにより、食生活や運動などの生活習慣の改善についてアドバイスを行います。特定保健指導を実施することで、対象の方に食生活や運動などの生活習慣を見直さきっかけづくりを行います。</p> <p style="text-align: right;">【国保年金課】</p>  |
| <p>5</p> | <p><b>高齢者への健康づくり支援と介護予防※事業</b></p> <p>各種プログラムを行い、高齢者の健康維持のための支援をします。</p> <p><b>「うんどう教室※」</b></p> <p>公園内に設置した専用の運動器具を使って「つまずいたり」「ふらついたり」することを予防するための運動を行います。また、ボランティアリーダーである地域指導員に対して、スキルアップ講座の実施や葛飾区との定期的な連絡会を開催し、連携を図っていきます。</p> <p><b>「筋力向上トレーニング※」</b></p> <p>椅子を使ったスロートレーニングで、ひざの屈伸運動や腕の運動、背伸びの運動などによって筋力の向上を目指します。また、地域の自主グループの活動を活発にするため、ボランティアリーダーの養成やスキルアップ講座の実施などの継続支援に取り組みます。</p> <p><b>「運動習慣推進プラチナ・フィットネス」</b></p> <p>広く高齢者に介護予防※に取り組んでもらえるよう、フィットネスクラブと協働して運動メニューを実施します。様々な媒体を使用した周知を行うとともに、高齢者がその後も運動習慣を継続できるような働きかけを検討していきます。</p> <p><b>「シニア版ポニースクール※」</b></p> <p>乗馬によって普段使っていない筋肉を鍛えるとともに、馬の世話を通して楽しく体を動かす機会を作ります。</p> <p style="text-align: right;">【地域包括ケア担当課】</p> |

|   |
|---|
| <p><b>6 子どもの体力向上のための取組</b></p> <p>子どもの体力の一層の向上のため、「かつしかっ子体力アッププログラム※」を実施し、学校において子どもが運動する機会を増やします。また、体育の授業を充実させることで、運動好きの子どもの育成と体力の向上を図ります。</p> <p>さらに、小学校においては、外部指導員を活用し、専門的な指導を行うことにより運動の意欲を高める取組を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【指導室】</p>   |
| <p><b>7 学校連携事業</b></p> <p>かつしか地域スポーツクラブエリア内の小学校を対象に、学校体育授業にオリンピック等の専門指導員を派遣し、陸上競技教室等を開催します。</p> <p>また、学校からの要望が大きくなっているため、エリア外の学校での実施についても検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>  |
| <p><b>8 放課後子ども事業(わくわくチャレンジ広場※)</b></p> <p>地域・学校等と協力し、学校に通うすべての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう継続した居場所確保や対象学年、実施日時 of 拡大を図ります。</p> <p>また、自由な遊びや学習の見守りと併せて、児童が多様な体験と活動ができるよう、スポーツ・文化などのプログラムの充実に取り組みます。</p> <p style="text-align: right;">【地域教育課】</p>   |
| <p><b>9 青少年の活動機会の充実</b></p> <p>各種プログラムを行い、青少年の活動機会を充実するための支援をします。</p> <p>「かつしか少年キャンプ※」<br/>自然の中での野外活動を通じた若年層の心身の成長を図ります。</p> <p>「にいじゅくプレイパーク事業※」<br/>にいじゅくプレイパークでの地域活力を活用し、地域の若年層の遊びを通じた運動体験の場として環境整備を図ります。</p> <p>「ポニースクールかつしか※」<br/>乗馬体験を通じて、若年層が広域地域や異年齢集団活動における心身の育成を図れる社会教育活動の場として支援を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【地域教育課】</p> |
| <p><b>10 青少年対象講座等の実施</b></p> <p>青少年の育成のため、学習、文化、スポーツ活動の場を提供しています。スポーツ活動としては「ふれあいスポーツジュニア※」、「オープンスペース空手※」、「HIPHOP教室」などの事業を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>   |

★ 指標

**生涯スポーツ課事業（指定管理者事業含む）の実施における参加者数**



(2) 自分にあったスポーツ実施機会の充実

ライフステージや生活スタイル等によって一人ひとりのスポーツに対する関心や目的、取り組み方は異なります。区民の誰もが自分の健康状態や能力等の特性に合わせたスポーツ活動ができるよう、多様なニーズに対応したスポーツに親しむことのできる機会の充実を図ります。

第9回かつしかふれあい  
RUNフェスタ 2023  
ポスター



● 主な取組 ★印は指標がある取組

11 ★かつしかふれあいRUNフェスタの一部公道開催

荒川河川敷管理用道路を使用して実施している各種目のうち、ハーフマラソンの部を、一部公道を使用したコースで実施することにより、多くの区民の目に触れ、沿道地域の活性化を促すような、葛飾区を代表するスポーツイベントとして開催します。

また、ファミリー層や子どもから高齢者まで、各世代が参加できる種目(距離)も盛り込み、働き盛り世代をはじめ、すべての世代のスポーツ実施率の向上や、健康増進に取り組むきっかけづくりとするとともに、これを契機に、世代間や地域間の交流、さらには、区民や関係団体等との協働をより一層推し進め、スポーツによる元気なまちづくりにつなげていきます。

【生涯スポーツ課】

|  |
|--|
| <p><b>12 ★ランニング&amp;ウォーキング事業</b></p> <p>紅葉ウォーキング、ランニング・ウォーキング教室、シティロゲイニング等の実施により、施設や道具等の環境に縛られることなく、各世代の区民が、各々のタイミングや強度で運動を実施する機会を提供していきます。</p> <p>また、きっかけを掴んだ区民が、次のステップを目指すことができるよう、競技志向が高いRUNフェスタや陸上競技大会、駅伝大会等への参加を促し、日ごろのトレーニングの成果を発揮したり、達成感を味わったりする機会を提供します。</p> <p>さらに、健康部と連携したアプリの活用等により、継続的な運動を促し、健康診断結果に反映させるなどして、スポーツ活動の取組へのモチベーションを高めていきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p> |
| <p><b>13 区民健康スポーツ参加促進事業</b></p> <p>一般社団法人葛飾区体育協会と協働して、加盟団体スポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・子育て中の親子など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などを実施します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p>   |
| <p><b>14 スポーツ事業の実施・充実</b></p> <p>区民のスポーツ参加機会の充実のため、エンジョイスports、かつしかスポーツフェスティバル、キャプテン翼CUPかつしか、かつしかふれあいRUNフェスタなど誰もがスポーツを楽しむことができるイベント型スポーツ事業を引き続き実施します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p>   |
| <p><b>15 高齢者推奨スポーツ種目の普及・推進</b></p> <p>運動を始めるきっかけや継続するための動機付けとして体力テスト測定会を実施するとともに、葛飾区の推奨スポーツである「グラウンド・ゴルフ」、「バウンドテニス」、「ダーツ」だけでなく、高齢者が各世代の方と一緒に楽しむことができるレクリエーションスポーツを普及促進します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p>  |
| <p><b>16 かつしかウォーキングマップ<sup>※</sup>、ランニングステーションコースマップ<sup>※</sup>の作成</b></p> <p>区民が自ら健康を意識し、気軽にウォーキングを楽しむきっかけづくりとしてウォーキングコースやランニングステーションを掲載したマップを作成し、区内施設等で配布します。</p> <p>また、作成したマップを活用したウォーキング事業を実施して、ウォーキングコースやランニングステーションをPRします。</p> <p style="text-align: right;"><b>【健康づくり課】【生涯スポーツ課】</b></p>   |
| <p><b>17 かつしかはつらつ体操<sup>※</sup></b></p> <p>葛飾区歌の音楽に乗せながら気軽にできる体操として、葛飾区健康づくり推進員を中心に講習会等を実施して、普及していきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【健康づくり課】</b></p>   |
| <p><b>18 ふれあいスポーツ</b></p> <p>区民が、個人でも気軽に卓球・バドミントンを楽しめるよう、「にこわ新小岩」の多目的ホール及び学び交流館<sup>※</sup>のレクリエーションホール等を一般開放し、時間帯によって、指導員の指導も受けられるようにします。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯学習課】</b></p>  |

★ 指標

かつしかふれあいRUNフェスタ（一部公道開催）参加者数

現状 令和3年度(2021)

3,016人  
※オンライン大会



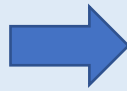
目標 令和9年度(2027)

10,000人

ランニング&ウォーキング事業の参加者数

現状 令和3年度(2021)

942人



目標 令和9年度(2027)

1,500人



### (3) 障害者スポーツの推進

障害のある方にとってのスポーツは、体力の向上や障害の進行予防等の健康面とともに、積極的な自立や社会参加の促進にもつながります。

障害のある方が、障害の特性に配慮しながら身近な場所で気軽にスポーツができるよう、障害者スポーツの体験等の機会の充実を図ります。また、障害のある人もない人も身近でスポーツができる環境づくりにも取り組み、共生社会の実現を図ります。



葛飾区ボッチャ交流大会

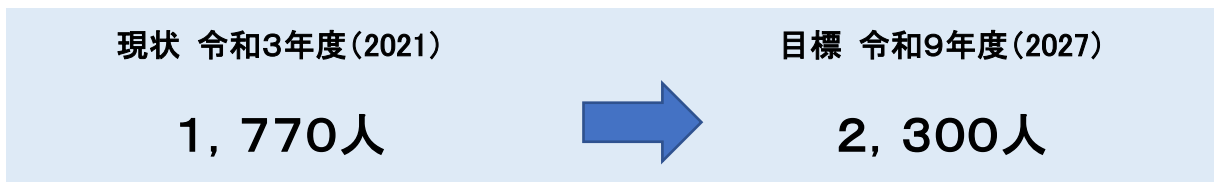
#### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

|  |
|--|
| <b>19 ★障害者スポーツ教室</b>   |
| トランポリンやニュースポーツ※、水泳などが定期的に体験できる障害者向けのスポーツ教室を実施します。今後も、定期的に障害者がスポーツを楽しむ場を提供していきます。<br><b>【生涯スポーツ課】</b>                               |
| <b>20 ★障害者スポーツ指導員※の育成・活用</b>   |
| 障害者スポーツ指導員養成講習会※を実施し、指導員の確保や育成に努めるとともに、指導員の活動の場を提供します。<br>今後も障害者スポーツ事業に指導員を積極的に活用します。<br><b>【生涯スポーツ課】</b>                          |
| <b>21 障害者スポーツ支援組織の充実</b>   |
| 障害者が自主的に安心してスポーツに取り組めるよう、葛飾区ボッチャ協会・東京都フロアホッケー連盟を始め、スポーツ指導員※などが障害者スポーツ事業を通して連携を強め、障害者スポーツの支援組織の設立を目指します。<br><b>【障害福祉課】【生涯スポーツ課】</b> |

|   |
|---|
| <p><b>22 ★のびのびユニスポ広場</b></p> <p>パラリンピック公式種目であるボッチャやスペシャルオリンピックス<sup>※</sup>公式種目であるフロアホッケーなどのユニバーサルスポーツ<sup>※</sup>の認知度向上を図り、普及発展を推進します。</p> <p>週1回、フロアホッケー、風船バレー、ボッチャなど、障害者と健常者が共にスポーツを楽しむ場を提供していきます。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p>                          |
| <p><b>23 ★ボッチャ競技の普及・推進</b></p> <p>パラリンピック公式種目であるボッチャ競技を葛飾区ボッチャ協会が主体となって区民大会や教室等を運営しながら認知度向上と普及推進を図り、競技力向上だけでなく、ユニバーサルスポーツ<sup>※</sup>としてのボッチャの普及発展を推進します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【障害福祉課】【生涯スポーツ課】</b></p>   |
| <p><b>24 ★ブラインドサッカーの普及</b></p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー<sup>※</sup>事業として、日本ブラインドサッカー協会との協定に基づき、学校体育でブラインドサッカー教室を行い障害の理解を図ります。また、パラリンピック大会に向けて日本代表の合宿を葛飾区で実施するほか、大規模大会を誘致することでブラインドサッカーの魅力を区民に伝え、障害への理解を深め共生社会を実現します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【生涯スポーツ課】</b></p> |
| <p><b>25 ポニースクールかつしか<sup>※</sup>(再掲)</b></p> <p>乗馬や飼育の体験を通じて、障害児が身体機能や情緒の発育に寄与する社会教育活動の場として支援を図ります。</p> <p style="text-align: right;"><b>【地域教育課】</b></p>  |
| <p><b>26 デフリンピック<sup>※</sup>2025 開催に向けた環境整備</b></p> <p>東京で開催されるデフリンピック<sup>※</sup>2025 に向け、大会のPRを行うとともに、手話講習会や障害に対する理解を深める講座等の機会を活用し、手話ができる区民の育成や障害への理解を図り、関係団体とも連携しながら共生社会の実現を目指します。</p> <p style="text-align: right;"><b>【障害福祉課】【生涯スポーツ課】</b></p>                                   |

★ 指標

**障害者スポーツ事業の参加者総数**



## 目標2 スポーツが「できる」環境の整備

スポーツ施設等を安全・安心・便利に利用できるよう計画的に整備し、区民が身近な場所でスポーツや運動ができるよう、環境の充実を図ります。

### (1) スポーツ施設の環境整備

葛飾区には2つの総合スポーツセンターをはじめとした区立のスポーツ施設があります。誰もが区立のスポーツ施設を安全・安心、快適に利用できるよう、老朽化に伴う改修や利便性・安全性を向上させるための改修などを計画的に整備していきます。また、障害者スポーツに配慮したバリアフリー等の改修も進めます。

#### ● スポーツ施設の改修予定（前期実施計画事業） ★印は指標がある取組

|   |
|---|
| <b>27 ★人工芝充填材入替工事</b>   |
| 奥戸総合スポーツセンター陸上競技場の人工芝フィールドをJFA公認の更新時に公認基準を満たすように、充填材の入れ替え工事を行います。<br><p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>  |
| <b>28 ★奥戸総合スポーツセンター少年野球場改修工事</b>  |
| 隣接する清掃事務所再編のため清掃事務所と少年野球場の敷地を一部交換することによる、少年野球場のレイアウト変更等の改修工事を行います。<br><p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p> |
| <b>29 ★河川敷グラウンドトイレ改修等工事</b>   |
| 荒川・江戸川河川敷の緊急河川敷道路沿いに防球ネットを設置及びトイレの改修工事を計画的に行っていきます。<br><p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>                |



奥戸総合スポーツセンター  
野球場



## ● その他スポーツ施設の改修予定

### ○奥戸総合スポーツセンター陸上競技場第4種L公認取得工事

令和5年度に公認期限が満了となるため、基準を満たすように工事を行い、公認を再取得します。また必要な備品の補充を行います。

### ○奥戸総合スポーツセンター温水プール館敷地スロープ設置工事

温水プールとエイトホールの渡り廊下及び屋外プール出入口が敷地内の地盤沈下により段差が出来ていて危険であることから、段差解消のためのスロープを設置します。

### ○渋江公園テニスコート人工芝張替工事

経年劣化により人工芝が切れて捲れてしまっており、ケガや転倒の危険性があるため、人工芝の張替工事を行います。

その他、テニスコートや人工芝多目的広場も経年劣化の状況を確認しながら適宜張替工事を行います。

### ○奥戸総合スポーツセンター温水プール館敷地環七側フェンス設計委託・工事

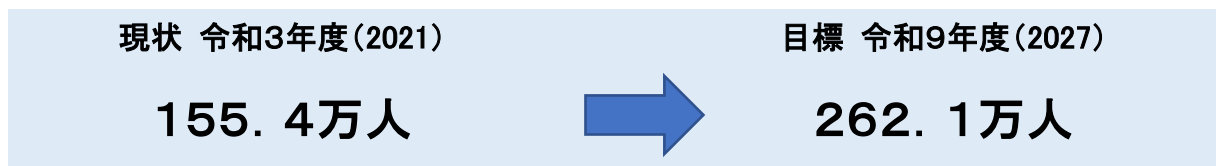
環七側フェンス支柱の劣化が進んでいるため、改修工事を行います。

### ○奥戸総合スポーツセンターの外壁等工事

奥戸総合スポーツセンター体育館及び温水プール館について、保全工事計画に基づく計画的・予防的修繕工事を実施し施設の長寿命化を図ります。

## ★ 指標

### 体育施設の利用者数



## (2) 身近な施設の有効活用

区民の誰もがスポーツを気軽に親しむ環境を充実させるため、既存のスポーツ施設や公園、学校の体育館等の身近な施設を含め、区内の様々な場所を活用したスポーツ実施の場の充実を図ります。



江戸川河川で実施している  
カヌー教室

### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

|   |
|---|
| <b>30 ★区有施設の活用</b>  |
| 小・中学校の学校施設等（校庭、体育館・ミーティングルーム等）を学校教育上支障のない範囲で、区民（一般及び登録団体）に開放します。また、区内各所にある地区センターや交流館などの地域コミュニティ施設を、健康づくりなどが行える身近な場所として有効活用していくとともに、区民が気軽に体を動かすことのできる公園等の整備を、公園改修を機に検討していきます。また、学校施設として新設する屋内温水プールの区民利用について検討していきます。 |
| 【地域振興課】【公園課】【教育総務課】【生涯スポーツ課】  |
| <b>31 健康遊具設置事業</b>  |
| 歩いて行ける身近な公園・児童遊園に、手軽に運動できる健康遊具を設置することで、高齢者等の健康づくりを推進します。  |
| 【公園課】   |
| <b>32 都立高校施設の活用</b>   |
| 区内都立高校の開放施設を、地域の身近な施設として、かつしか地域スポーツクラブの活動などで有効活用していきます。   |
| 【生涯スポーツ課】   |
| <b>33 民間スポーツ施設の有効活用</b>   |
| 区民が気軽に民間スポーツ施設を利用できるように、民間事業者と連携していきます。   |
| 【生涯スポーツ課】   |

### 34 水辺の利用

水と緑のまちかつしかの立地を生かし、カヌー等の水上スポーツの活動場所として、水元公園小合溜や河川の活用を検討していきます。

【生涯スポーツ課】

### 35 かつしかウォーキングマップ※、ランニングステーションコースマップ※の作成(再掲)

区民が自ら健康を意識し、気軽にウォーキングを楽しむきっかけづくりとしてウォーキングコースやランニングステーションを掲載したマップを作成し、区内施設等で配布します。

また、作成したマップを活用したウォーキング事業を実施して、ウォーキングコースやランニングステーションをPRします。

【健康づくり課】【生涯スポーツ課】

### 36 ふれあいスポーツ(再掲)

区民が個人でも気軽に卓球・バドミントンを楽しめるよう、「にこわ新小岩」の多目的ホール及び学び交流館※のレクリエーションホール等を一般開放し、時間帯によって、指導員の指導も受けられるようにします。

【生涯学習課】

ランニングステーション



#### ★ 指標

スポーツ施設の利用者数(体育施設の利用者数、学校施設開放の利用者数)

現状 令和3年度(2021)

215.6万人

目標 令和9年度(2027)

353.3万人

### 目標3 スポーツを「ささえる」活動の基盤強化

スポーツ団体の活動をより充実させるためにも、団体相互の連携を図り、スポーツボランティアの充実と合わせて、葛飾区のスポーツ推進を下支えする体制の更なる強化を図ります。

#### (1) スポーツ関連団体との連携・協働

これまで、かつしか地域スポーツクラブや葛飾区体育協会、葛飾区スポーツ推進委員協議会などの葛飾区のスポーツを「ささえる」スポーツ団体と連携しスポーツ施策を推進してきました。今後もより一層の連携を図り、区民がスポーツや運動をする機会を充実するために、スポーツ団体との協働事業を通して、葛飾区のスポーツ環境の充実に向けて連携を強化します。また、葛飾区のスポーツ環境をさらに充実するため、区内の民間事業者との連携を検討します。



地域スポーツクラブ  
KOYANO Beans (チア)

#### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

##### 37 ★かつしか地域スポーツクラブを中心としたスポーツ環境整備

葛飾区とのスポーツ協働事業や学校との連携事業を推進するなど、かつしか地域スポーツクラブが地域スポーツの担い手として重要な役割を果たすよう、さらなる人材育成と活動の拡充に向けた支援を行い、地域におけるスポーツ環境を整備します。また、区民に対してかつしか地域スポーツクラブについての理解と興味関心を高めるための普及活動を推し進めるとともに、学校部活動の地域移行について検討します。

【生涯スポーツ課】

##### 38 ★一般社団法人葛飾区体育協会との連携・協働

一般社団法人葛飾区体育協会と、より一層の連携・協働を図り、区内におけるすべての年齢層でスポーツをする人のすそ野を広げていきます。そのためには、葛飾区体育協会との協働事業を通して区民のスポーツ活動への参加を促すことにより、スポーツ実施率の向上を図り、区民の健康寿命の延伸に寄与していきます。

また、少子高齢化の進行に対応するために、各種スポーツ団体で高齢者向けのルールや部門を設けるなど、競技を継続できる取組を検討するとともに、学校部活動の地域移行について検討します。

【生涯スポーツ課】

|  |
|--|
| <b>39 ★葛飾区スポーツ推進委員協議会との連携・協働</b>   |
| <p>スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整、並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行います。また、葛飾区と葛飾区スポーツ推進委員協議会が協働してスポーツ振興施策を企画立案し、区民のスポーツ活動の環境づくりを支援します。</p> <p>高齢者や障害者が楽しめるレクリエーションスポーツの普及を進めるとともに、地域スポーツクラブへの協力体制の構築を目指します。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p> |
| <b>40 ホームタウンチーム観戦事業</b>  |
| <p>葛飾区をホームタウンとする社会人チームを区民が応援することにより、区民がスポーツの素晴らしさを実感できる環境をつくりまします。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>   |
| <b>41 民間事業者との連携・協働</b>   |
| <p>民間事業者のノウハウを活用して区民の健康維持・体力増進へとつなげるため、様々な場面で協働事業を展開していきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>  |
| <b>42 運動習慣推進プラチナ・フィットネス(再掲)</b>  |
| <p>広く高齢者に介護予防<sup>*</sup>に取り組んでもらえるよう、フィットネスクラブと協働して運動メニューを実施します。様々な媒体を使用した周知を行うとともに、高齢者がその後も運動習慣を継続できるような働きかけを検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【地域包括ケア担当課】</p>   |

★ 指標

**スポーツ協働団体の会員数（かつしか地域スポーツクラブ、  
一般社団法人葛飾区体育協会、葛飾区スポーツ推進委員協議会）**



## (2) ボランティア・指導員の育成・活用

葛飾区で開催されるスポーツイベントから日常的な地域スポーツの場面まで、区民のスポーツ活動を支える人材の育成を図るため、気軽にスポーツボランティアを経験できる機会を拡充し、やりがいや達成感を得ながら活動を継続できるよう取り組みます。

また、区民の誰もがスポーツを楽しみ、能力を高めていくためには、適切なアドバイスや声掛けなどができる指導者の存在が重要です。スポーツの意義や楽しみを伝え、スポーツを通じた人間的成長や多様性に配慮できるスポーツ指導員<sup>※</sup>や障害者スポーツ指導員<sup>※</sup>の養成に取り組みます。



RUNフェスタにおける  
スポーツボランティアの活動

### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

#### 43 ★スポーツボランティアの活用・拡充

スポーツイベントをはじめ、スポーツ関係団体のイベントや地域のスポーツ行事等において、ボランティアを経験する機会を積極的に提供し、スポーツボランティアの活動の場を拡充します。また、個人登録だけでなく法人登録制度を作るなど、スポーツボランティア制度の拡充を図ります。

【生涯スポーツ課】

#### 44 ★スポーツ指導員<sup>※</sup>の養成・育成

スポーツ指導員養成講習会<sup>※</sup>を実施し、指導員の確保や育成を図るとともに、葛飾区が実施している事業等で活動の場を提供します。

区民やスポーツ団体のニーズに合わせたスポーツ指導員養成講習会<sup>※</sup>を実施します。また、学校部活動の地域移行について検討します。

【生涯スポーツ課】

#### 45 ★障害者スポーツ指導員<sup>※</sup>の育成・活用(再掲)

障害者スポーツ指導員養成講習会<sup>※</sup>を実施し、指導員の確保や育成を図るとともに、指導員の活動の場を提供します。

今後も障害者スポーツ事業に指導員を積極的に活用します。

【生涯スポーツ課】

#### 46 ★かつしかふれあいRUNフェスタの運営スタッフと応援団体のボランティア募集

運営スタッフについては、一般社団法人葛飾区体育協会や連携協定締結団体との協働体制を構築しつつ、区内大学、高等学校・中学校に、ボランティアの派遣を依頼します。

また、広報紙やチラシ・ポスターの他、ホームページやSNSを通じて、スポーツボランティア登録者に限らず、区内外から広くボランティアを募ります。

イベント運営の従事、パフォーマンスでランナーを応援するなどの活動を通して、ボランティアの力でイベントが盛り上がる体験をすることで、スポーツボランティアとしてのやりがいを育んでいきます。

【生涯スポーツ課】

#### ★ 指標

##### スポーツボランティアの登録者数

現状 令和3年度(2021)

245人



目標 令和9年度(2027)

500人

##### スポーツ指導員※数

現状 令和3年度(2021)

541人



目標 令和9年度(2027)

700人



## 目標4 スポーツを「みせる」環境の整備

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツ活動ができるよう、スポーツに関わるすべての活動における楽しさや、やりがい、魅力を区民に伝える取組を推進します。

### (1) スポーツ情報・発信の充実

スポーツへの興味・関心を高めることで区民のスポーツ活動の実施に繋がります。多様な媒体それぞれの特徴を踏まえて、スポーツの関連情報を区民へ迅速かつ的確に発信していきます。また、すべての区民が情報を活用してスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設、機会、団体などの情報を充実させ区民のニーズにあった情報を届ける取組を進めます。



ツイッター「スポーツかつしか」

#### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

|    |  |
|----|--|
| 47 | <h4>講座・イベント情報</h4> <p>毎年度4～9月の前期と10月～3月の後期の半年間に予定されている、スポーツを含む生涯学習情報をまとめた冊子を発行します。生涯学習関係事業主催課各窓口で区民の閲覧に供しているほか、ホームページでも公開しています。</p> <p style="text-align: right;">【生涯学習課】</p>  |
| 48 | <h4>★スポーツ事業の情報発信</h4> <p>葛飾区の広報紙やホームページ、SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）やかつしかFMのスポットCM、スポーツ広報紙の「スポーツかつしか」などにより、葛飾区のスポーツ事業を周知します。</p> <p>今後は、LINEアプリを活用した、区民と双方向による情報発信を進めていきます。また、スポーツ事業に限らず、他部署で実施する事業やイベントと連携して、スポーツ事業の案内をすることによりスポーツへの無関心層に積極的な情報発信をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p> |
| 49 | <h4>アプリを活用した情報提供</h4> <p>健康部が導入している、歩数計測等の自己管理を行うアプリとの連携を検討します。庁内で開発するアプリにスポーツ情報の発信などを組み込めるように検討します。</p> <p style="text-align: right;">【健康づくり課】【生涯スポーツ課】</p>   |

#### ★ 指標

### スポーツかつしか・かつしかふれあいRUNフェスタのSNS登録者数





## (2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー\*継承

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けたスポーツ推進に取り組んできましたが、開催後のレガシー\*として、引き続き、スポーツの活動やスポーツボランティアとしての参加機会の提供など、スポーツを「する」「みる」「ささえる」活動へ繋げる取組を推進します。また、一流のプレーを「みる」ことができる環境をつくってスポーツへの興味・関心を高め、更なるスポーツ振興を図っていくため、将来的なサッカースタジアムの整備に向けた検討を進めていきます。

東京 2020 オリンピック競技大会  
柔道男子 100 キロ級 金メダリスト  
「ウルフ アロン選手」



### ● 主な取組 ★印は指標がある取組

|  |
|--|
| <p><b>50 ★東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会後の取組</b></p> <p>東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として高まった区民のスポーツに対する関心を大会終了後も維持し、スポーツ活動の実施に繋がられるような事業を展開していきます。東京都のレガシー*事業に絡めて事業展開をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>          |
| <p><b>51 ★アスリート支援事業</b></p> <p>オリンピック・パラリンピック等の世界大会を目指す葛飾区ゆかりのアスリートを区民が応援できるように、オリンピック・パラリンピック 2024 パリ競技大会やデフリンピック*2025 東京大会の開催に向け、区ゆかりのアスリートと区民との交流する場を創設するなど、機運醸成を図る取組を展開していきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p> |
| <p><b>52 ★東金町運動場スポーツライミングセンターの活用</b></p> <p>オリンピック公式種目であるスポーツライミング競技の普及推進、認知度向上を図ります。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー*事業に絡めて事業の展開をしていきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>   |
| <p><b>53 ★学校連携事業(再掲)</b></p> <p>かつしか地域スポーツクラブエリア内の小学校を対象に、学校体育授業にオリンピック等の専門指導員を派遣し、陸上競技教室等を開催します。</p> <p>また、学校からの要望が大きくなっているため、エリア外の学校での実施についても検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">【生涯スポーツ課】</p>                           |

#### 54 ★ボッチャ競技の普及・推進(再掲)

パラリンピック公式種目であるボッチャ競技を葛飾区ボッチャ協会が主体となって区民大会や教室を運営しながら認知度向上と普及推進を図り、競技力向上だけでなく、ユニバーサルスポーツ※としてのボッチャの普及発展を推進します。

【障害福祉課】【生涯スポーツ課】

#### 55 ★ブラインドサッカーの普及(再掲)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー※事業として、日本ブラインドサッカー協会との協定に基づき、学校体育でブラインドサッカー教室を行い障害の理解を図ります。また、パラリンピック大会に向けて日本代表の合宿を葛飾区で実施するほか、大規模大会を誘致することでブラインドサッカーの魅力を伝え、障害への理解を深め共生社会を実現します。

【生涯スポーツ課】

#### 56 スポーツボランティアの活用・拡充(再掲)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として拡大したスポーツボランティアの育成に引き続き取り組み、活動の場を広げていきます。

【生涯スポーツ課】



東金町運動場  
スポーツライミング  
センター

#### ★ 指標

### 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー※事業 件数・参加者数

現状 令和3年度(2021)

59回

3,390人



目標 令和9年度(2027)

76回

4,400人

## 第4章 本計画の実施に向けて

### 1 推進体制

本計画を推進していくためには、行政だけではなく体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ協働団体などの各主体が、積極的にスポーツ活動を推進するとともに、互いに連携・協働していくことが重要です。

各主体では以下のような役割でのスポーツ活動が推進されます。

#### (1) 葛飾区・葛飾区教育委員会

葛飾区・葛飾区教育委員会は、区民のスポーツ振興を推進する区全体の総括的役割を担い、庁内の各課と連携をとり、教育・健康・福祉・子育て・産業・まちづくりなどの分野におけるスポーツ関連施策を推進し、生涯スポーツ振興に関わる総合計画、企画・立案・調整をしていきます。

「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」自分にあった形でスポーツ活動ができる機会の創出、場の提供を進めます。また、葛飾区のスポーツ活動を支える人材や協働団体を支援・育成し、各団体との連携・協働を図ることでスポーツ活動を推進します。

#### (2) 葛飾区スポーツ推進委員協議会

区民の身近な存在として、地域住民のニーズに沿ったスポーツの普及、スポーツ活動の指導・助言、地域住民と行政との連絡調整（コーディネーター）などの役割を担います。

#### (3) 一般社団法人葛飾区体育協会

スポーツ推進と体力向上、スポーツ精神の涵養を図ることを目的として、区民のスポーツ活動を主導し、競技力の向上を目指すとともに、誰もが多様な種目のスポーツを親しめる機会を提供し、スポーツ人口の底辺の拡大を進めます。また、スポーツイベントやスポーツ教室等の実施・拡充をしながら、行政と連携協力してスポーツ団体の育成強化と指導に関することを役割とします。

#### (4) かつしか地域スポーツクラブ

区民、民間事業者と行政が連携し、地域住民がスポーツを身近に親しむ機会を提供します。また、スポーツの楽しさや魅力を発信し地域におけるスポーツ環境整備などの役割を担います。

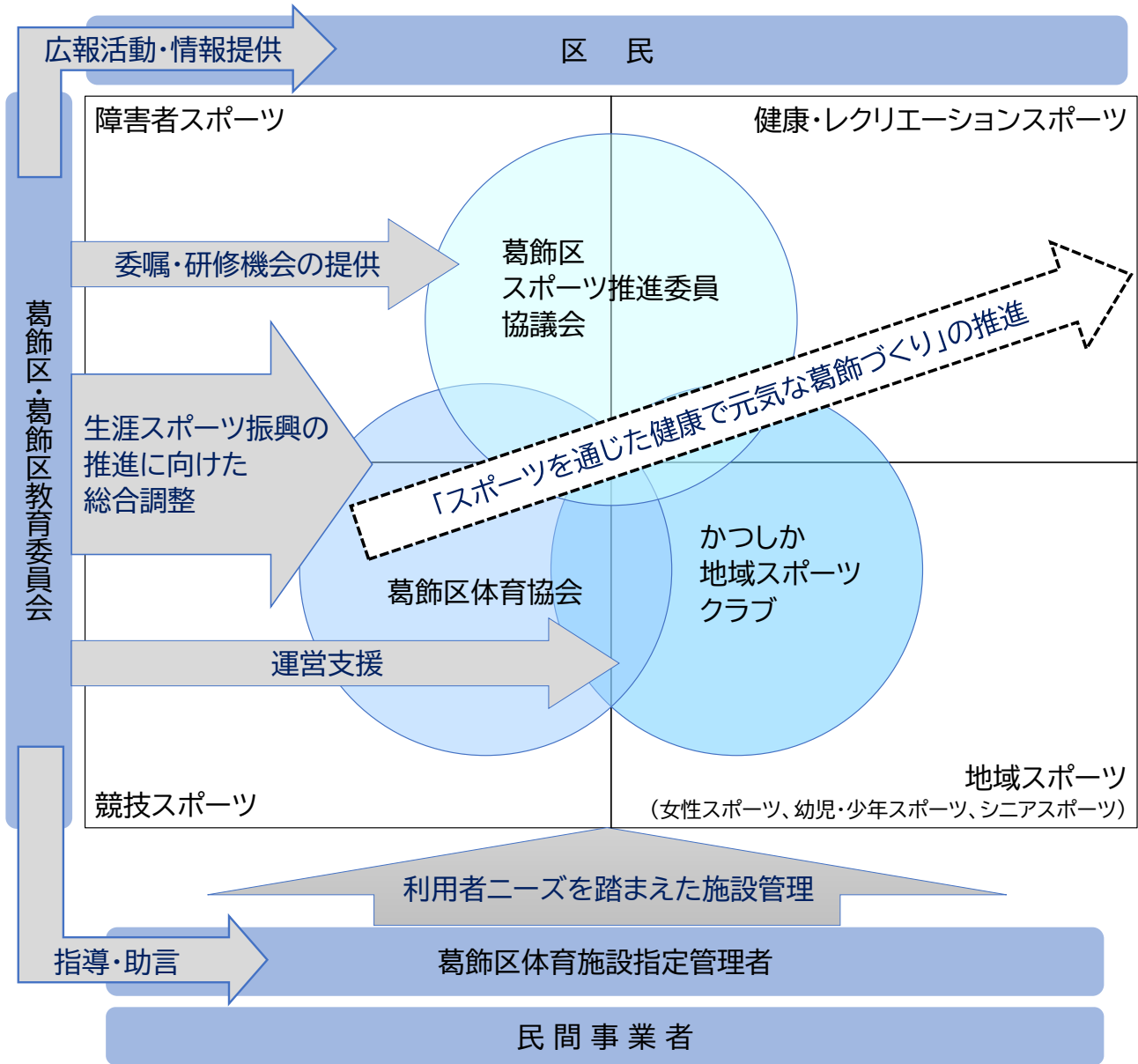
#### (5) 体育施設指定管理者・民間事業者

区立スポーツ施設の指定管理者は、区（教育委員会）の体育施設の管理運営を通して、スポーツ関係団体・機関とともに、「葛飾区スポーツ推進計画」の推進・実現に向けたスポーツ振興を進めます。

また、民間事業者としてのノウハウを活用して、専門的な知識を活かし、区民の多様なニーズに対応したサービスの提供をします。

さらに、区内の民間スポーツクラブ等と行政が連携を図ることで、区民のスポーツ参画の拡大につなげていくことが期待されます。

葛飾区における各団体相関図



## 2 本計画の評価

計画の取組状況は、計画（PLAN）、実行（DO）、評価（CHECK）、見直し（ACTION）のPDCAサイクルに基づき推進します。そのうえで、指標や取組などについては、時代の情勢やスポーツを取り巻く環境の変化に考慮し、適宜見直しを図っていきます。

また、スポーツ推進施策は、幅広く行政の分野に関わることから、庁内の各課と連携を諮り、事業の進捗状況等の共有をしていきます。また、事業の実施結果等は適宜公開し、区民の意見や提案を受け止め、取組の評価・見直しに繋げていきます。

### 本計画における指標

|                       | 現状値<br>令和3年度(2021) | 目標値<br>令和9年度(2027) |
|-----------------------|--------------------|--------------------|
| 日頃から運動やスポーツをしている区民の割合 | 62.8%              | 71.9%              |

### 各目標における指標

|                                   | 指 標  | 現状値<br>令和3年度(2021) | 目標値<br>令和9年度(2027) |
|-----------------------------------|--|--------------------|--------------------|
| 目標1<br>スポーツを<br>「する」<br>人の拡大      | 生涯スポーツ課事業（指定管理者事業含む）の実施における参加者数                          | 104,566人           | 278,000人           |
|                                   | かつしかふれあいRUNフェスタ（一部公道開催）参加者数                              | 3,016人             | 10,000人            |
|                                   | ランニング&ウォーキング事業の参加者数                                      | 942人               | 1,500人             |
|                                   | 障害者スポーツ事業の参加者総数  | 1,770人             | 2,300人             |
| 目標2<br>スポーツが<br>「できる」<br>環境の整備    | 体育施設の利用者数  | 155.4万人            | 262.1万人            |
|                                   | スポーツ施設の利用者数（体育施設の利用者数、学校施設開放の利用者数）                       | 215.6万人            | 353.3万人            |
| 目標3<br>スポーツを<br>「ささえる」<br>活動の基盤強化 | スポーツ協働団体の会員数（かつしか地域スポーツクラブ、一般社団法人葛飾区体育協会、葛飾区スポーツ推進委員協議会） | 25,335人            | 32,900人            |
|                                   | スポーツボランティアの登録者数  | 245人               | 500人               |
|                                   | スポーツ指導員※数  | 541人               | 700人               |
| 目標4<br>スポーツを<br>「みせる」<br>環境の整備    | スポーツかつしか・かつしかふれあいRUNフェスタのSNS登録者数                         | 1,715人             | 4,200人             |
|                                   | 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会レガシー※事業 件数・参加者数                  | 59回<br>3,390人      | 76回<br>4,400人      |

# 資料編

## 1 用語解説

(計画本文中で※印を付した用語)

### あ行

#### ウォーキングマップ

ご近所お散歩コース、健康遊具を巡るコース、史跡や名所を巡るコース、花と緑のふれあいコースなど区内全域20種類のウォーキングコースを掲載したマップを作成し、区内施設等で配布している。

P. 40・47

#### うんどう教室

公益財団法人体力づくり指導協会が推進するプログラムに沿って、専用の運動器具を公園に設置し、介護予防の運動を高齢者に指導している。

P. 37

#### オープンスペース空手

3歳以上の未就学児及び小学生とその保護者を対象に、空手を通して礼儀を学び、基礎体力を強化するとともに、参加者相互の交流を図り、家族で楽しむ機会等を提供する。

P. 38

### か行

#### 介護予防

高齢者が要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止を目的として行うもの。

P. 2・13・  
29・36・  
37・49

#### 葛飾区基本計画

葛飾区の総合計画として「夢と誇りあるふるさと葛飾」「区民との協働による、いつまでも幸せに暮らせるまちづくり」を基本方針として、14の「葛飾・夢と誇りのプロジェクト」を掲げ、20の政策課題やSDGsの実現に向けた取組等で構成されている。

P. 1・2・  
33

#### 葛飾区子どもまつり

葛飾区及び葛飾区教育委員会と葛飾区子ども会育成会連合会との共催事業で、子ども向けの工作やゲーム、スポーツなどのコーナーを設けて、体験してもらうものとなっている。開催にあたっては、主催者による企画打合せや協力団体等による実行委員会を組織し、運営を行っている。

P. 11

#### かつしか少年キャンプ

葛飾区教育委員会と葛飾区子ども会育成会連合会との共催事業で、高学年の子ども会員に野外活動体験の機会を提供するとともに、子ども会のリーダー養成を図り、子ども会活動の活性化に寄与することを目的としている。

P. 38

### かつしかっ子体力アッププログラム

日常的に取り組むことができる運動や授業の中で継続して取り組むことができる運動の内容を示し、一人ひとりが目標をもって運動に主体的に取り組むことで、基礎的な体力の向上を図る。

P. 38

### かつしかはつらつ体操

葛飾区健康づくり推進員が中心となって考案した、葛飾区歌にあわせて行う体操。立って行う「立ちバージョン」と椅子に座って行う「椅子バージョン」がある。

P. 11・40

### 筋力向上トレーニング

高齢者を対象に行う、自分の体力にあわせた簡単な筋肉の運動で、筋力の維持・向上を図り、転倒予防や骨折による寝たきりを予防する。

P. 37

### 区民の総合的な健康づくり支援事業

参加者が自身のスマートフォンアプリにより、歩数・歩行時間・消費カロリーなどを計測するほか、食事・体重などの健康データを管理することで、健康意識や行動の変容を目指す、参加型の健康づくりのプログラム。個人の歩数、健康セミナー、ウォーキングイベントなどの参加によりポイントを付与し、そのポイントに応じて特典を贈呈する。参加者が、楽しみながら自らの健康を意識し、健康習慣が定着するきっかけづくりを促し、健康寿命の延伸を目指す。

P. 37

また、区内事業所で働く人に対しては、このプログラムに加え、食習慣調査、ウェアラブル機器の装着によるデータの測定等の取組を行う。

## さ行

### 障害者スポーツ指導員

障害のある方がそのニーズに応じて少しでも多くのスポーツに参加できるようにする指導者。

P. 42・50

### 障害者スポーツ指導員養成講習会

障害のある方のスポーツ活動への参加を促進し、各々のスポーツニーズを捉え、的確に対応していく環境づくりの一環として、指導者としての人材育成と、資質の向上を図ることを目的に実施している講習会。本講習会修了者は、日本パラスポーツ協会公認の初級障害者スポーツ指導員の資格を取得することができる。

P. 42・50

### スペシャルオリンピックス

国際的な「知的発達障害のある人」の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する組織。4年毎に、夏季大会と冬季大会の世界大会が開かれている。日本では、平成17年に冬季大会が長野で行われた。

P. 43

### スポーツ・インテグリティ

インテグリティとは、誠実性・健全性・高潔性という意。スポーツが様々な脅威（八百長・違法賭博、ガバナンス欠如、暴力、体罰、ドーピング等）により欠けることなく、価値のある高潔な状態を指す。

P. 4

## スポーツ基本法

スポーツに関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定める法。

昭和36年に制定された「スポーツ振興法」が、平成23年8月に全面改正され、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与することを目的として、平成23年8月24日から施行されている。

P. 1・2・  
4・10

## スポーツコース

奥戸総合スポーツセンター・水元総合スポーツセンターで実施しているスポーツプログラム。指定管理者の主催事業として、区内体育施設を利用して、幼児から働き世代、高齢者まで各世代の方が楽しんでスポーツや運動ができる親子体操やヨガ、健康体操や水泳教室など多種多様なスポーツプログラムがある。

P. 37

## スポーツ指導員

すべてのスポーツ指導者が共通して学ぶべき基礎的知識を身に付ける「共通科目（スポーツリーダー）」講習会と、各種目専門の知識や指導技術を身に付ける「専門科目」講習会を受講・修了し、教育委員会の審査で適任と認められると、認定・登録される。

P. 42・50・  
51・57

## スポーツ指導員養成講習会

多くの方がスポーツに参加できるよう指導者を育成するとともに、その資質の向上を目指して開催する講習会で、スポーツ指導者が共通して学ぶべき基礎的知識を身に付ける「共通科目（スポーツリーダー）」講習会と、各種目専門の知識や指導技術を身につける「専門科目」講習会がある。

P. 50

## 政策・施策マーケティング調査

葛飾区の政策が区民の生活にどれだけ成果をもたらしたかを把握し、その結果を成果指標として今後の区政運営に役立てるため、毎年実施している調査。

P. 14・34

## た行

### デフリンピック

国際的な「ろう者のためのオリンピック」で4年毎に夏季大会と冬季大会が開かれている。ルールはオリンピックとほぼ同じだが、耳の聞こえない人のために様々な工夫がされている。令和7（2025）年には、日本で初めてとなる東京大会が開催される予定。

P. 43・53

### 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査

東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に東京都が行っている調査。

P. 12



## な行

### にいじゅくプレイパーク事業

にいじゅくプレイパークは、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ禁止事項のない冒険的な遊び場とした、新しい形の公園として平成9年4月に開園。

青少年育成関係者で組織する「にいじゅくプレイパークの会」が地元自主管理方式で管理運営している。

P. 38

### ニュースポーツ

レクリエーションの一環として子どもから高齢者まで誰もが気軽に楽しむことを重視したスポーツで、ルールが易しく適度な運動量がある。インディアカ、ダーツ、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニスなど、数多くの種目がある。

P. 28・42

## は行

### ふれあいスポーツジュニア

区内小・中学生の方が、個人でも気軽に卓球・バドミントンを楽しめるよう、にこわ新小岩の多目的ホールや学び交流館のレクリエーションホール等を一般開放している。時間帯によって、指導員の指導も受けられる。

P. 13・38

### ポニースクールかつしか

子どもたちが、ポニーの世話や乗馬、子ども同士やスタッフとの交流を通して豊かな心と体の形成を図ることを目的とし、事業を委託して運営している。

P. 38・43

## ま行

### 学び交流館

地域コミュニティ施設として、区民の交流と学習・文化・スポーツの場として活用されている。グループやサークル活動、講座や情報発信の場ともなっている。

P. 40・47

## や行

### ユニバーサルスポーツ

障害のある人もない人も一緒に楽しめるスポーツで、体格や体力の優劣によらず、得点獲得や勝敗にかかわることができるようなルールになっているスポーツ。

P. 13・30  
43・54

## ら行

### ランニングステーションコースマップ

区内にある8つのモデルコースを掲載したマップ。ランニングステーションとは、ランナーが荷物を預けたり、走った後に、シャワーやお風呂を利用したりすることができる施設のこと。区内体育施設、葛飾区浴場組合（協力18ヶ所）でランニングステーションサービスを利用できる。

P. 40・47

## レガシー

「遺産」と訳され、オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーといった場合、開催により開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵という意味で用いられる。

P. 4・13・  
35・43・  
53・54・  
57

## わ行

### わくわくチャレンジ広場

小学校の施設を活用し、放課後等に、地域の方々の見守りの中、児童が安全かつ安心して自由に遊び、学ぶことができる場所として区内すべての小学校で実施している。

P. 38

## 2 葛飾区スポーツ推進計画策定委員会設置要綱

平成18年5月31日  
18葛教ス第106号  
教 育 長 決 裁

### (設 置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条の規定に基づき葛飾区のスポーツ推進を総合的に実施するための計画(以下「葛飾区スポーツ推進計画」という。)を策定することを目的として、葛飾区スポーツ推進計画策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 葛飾区スポーツ推進計画策定に関すること。
- (2) その他葛飾区スポーツ推進計画に必要な事項に関すること。

### (構 成)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって構成する。

- 2 委員長は、教育次長とする。
- 3 副委員長は、教育総務課長とする。
- 4 委員は、別表に掲げる者をもって構成する。

### (任 期)

第4条 委員の任期は、葛飾区スポーツ推進計画を策定する日までの間とする。

### (職 務)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会議を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

### (会 議)

第6条 委員会の招集は、委員長が行う。

- 2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求めることができる。

### (作業部会)

第7条 委員会に、所掌事項の調査及び検討を行う作業部会を置くことができる。

### (庶 務)

第8条 委員会の庶務は、教育委員会事務局生涯スポーツ課において処理する。

(委 任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

付 則

この要綱は、平成18年6月1日から施行する。

付 則（平成18年6月9日付け18葛教ス第142号教育長決裁）

この要綱は、平成18年6月9日から施行する。

付 則（平成29年5月29日付け29葛教ス第136号教育長決裁）

この要綱は、平成29年5月29日から施行する。

付 則（令和4年3月24日付け3葛教ス第787号教育次長決裁）

この要綱は、令和4年3月24日から施行する。

別表（3条関係）

|                |      |
|----------------|------|
| 教育次長           | 委員長  |
| 教育総務課長         | 副委員長 |
| 政策企画課長         |      |
| 高齢者支援課長        |      |
| 障害福祉課長         |      |
| 健康づくり課長        |      |
| 葛飾区体育協会代表      |      |
| 葛飾区スポーツ推進委員代表  |      |
| こやのエンジョイくらぶ代表  |      |
| オール水元スポーツクラブ代表 |      |

### 3 葛飾区スポーツ推進計画策定委員会委員名簿

| 役 職  | 氏 名    | 選 出 区 分              |
|------|--------|----------------------|
| 委員長  | 中島 俊一  | 葛飾区教育委員会事務局教育次長      |
| 副委員長 | 山崎 淳   | 葛飾区教育委員会事務局教育総務課長    |
| 委 員  | 吉田 尚   | 一般社団法人葛飾区体育協会代表      |
| 委 員  | 種村 明子  | 葛飾区スポーツ推進委員協議会代表     |
| 委 員  | 鈴木 奈保美 | NPO法人こやのエンジョイくらぶ代表   |
| 委 員  | 工藤 宜   | 一般社団法人オール水元スポーツクラブ代表 |
| 委 員  | 今関 政治  | 葛飾区政策経営部政策企画課長       |
| 委 員  | 伊東 由希  | 葛飾区福祉部高齢者支援課長        |
| 委 員  | 川上 鉄夫  | 葛飾区福祉部障害福祉課長         |
| 委 員  | 松木 まり子 | 葛飾区健康部健康づくり課長        |

#### 4 葛飾区スポーツ推進計画の策定経過

| 年月日                 | 項目        | 内容   |
|---------------------|-----------|--|
| 令和4年4月19日           | 第1回策定委員会  | (1) 委員会の組織について<br>(2) 国のスポーツ基本計画について<br>(3) 調査票の概要について<br>(4) 策定のスケジュール(案)について |
| 令和4年5月～6月           | 意識調査      | 調査対象 区内居住20歳以上の男女<br>3,000人(無作為抽出)   |
| 令和4年6月              | ヒアリング調査   | 調査対象 葛飾区で活動するスポーツ関連<br>6団体   |
| 令和4年8月22日           | 第2回策定委員会  | (1) 葛飾区スポーツ推進計画策定に係る区民意識<br>調査結果について<br>(2) 葛飾区スポーツ推進計画骨子(案)について               |
| 令和4年10月27日          | 第3回策定委員会  | 葛飾区スポーツ推進計画(素案)について  |
| 令和5年1月27日<br>～2月27日 | パブリックコメント | 葛飾区スポーツ推進計画(素案)に対する<br>パブリックコメントの実施  |
| 令和5年3月1日            | 第4回策定委員会  | (1) 葛飾区スポーツ推進計画(素案)に対する<br>パブリックコメントの実施結果について<br>(2) 葛飾区スポーツ推進計画(案)について        |





葛飾区スポーツ推進計画

令和5年3月発行

編集・発行 葛飾区教育委員会事務局生涯スポーツ課

〒124-0022 東京都葛飾区奥戸 7-17-1 電話 03-3691-7111(代表)